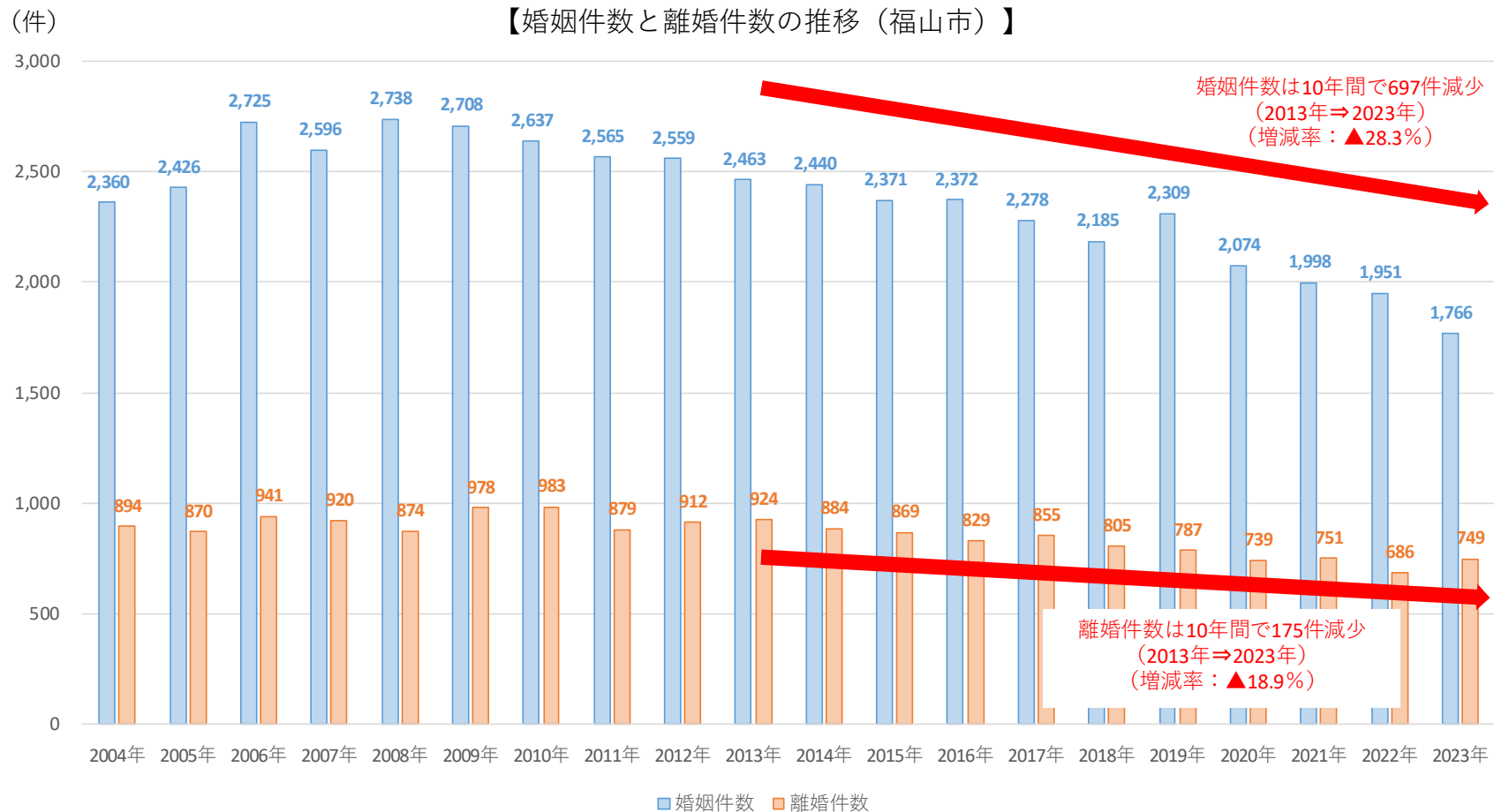


第1回少子化対策専門家会議を踏まえた追加資料

データ	
1	婚姻件数と離婚件数の推移
2	福山市の未婚者の男女比（未婚女性 1 人に対する未婚男性数の推移）
3	広島県の未婚調査の詳細分析（結婚しようと思える収入に対する若者の意識（性別ごと））
4	性別による賃金格差
5	共働き世帯と専業主婦世帯の推移（他自治体比較）
6	共働き世帯と専業主婦世帯の世帯所得と世帯数
7	共働き世帯の妻の雇用形態による世帯収入の比較（他自治体比較）
8	市内の少子化状況（エリア別）
9	5歳刻み(15-39歳)の転入超過数（福山市、姫路市、倉敷市） ※15－34歳の総数追加
10	外国人人口の推移と特徴
11	若者の若者回復率 ※コーホート変化率追加
12	市内大学生の就職に関する意識関連データの男女別集計結果 ※追加
13	福山市の産業構造や従業員構造の変化
14	日本鋼管（J F E）の従業員数の推移と男女比
15	市内の大学、専門学校、病院の配置
16	若者・女性に選ばれるワークショップでの意見 ※追加

(1) 婚姻件数と離婚件数の推移

- 本市の婚姻件数・離婚件数は、2010年（平成22年）頃から減少傾向にある。
- 直近10年間（2013年→2023年）の増減率を比べると、婚姻件数は▲28.3%・離婚件数は▲18.9%となっている。
（参考）全国の直近10年間の増減率：婚姻件数▲28.1%・離婚件数▲20.6%
広島県の直近10年間の増減率：婚姻件数▲30.4%・離婚件数▲19.2%

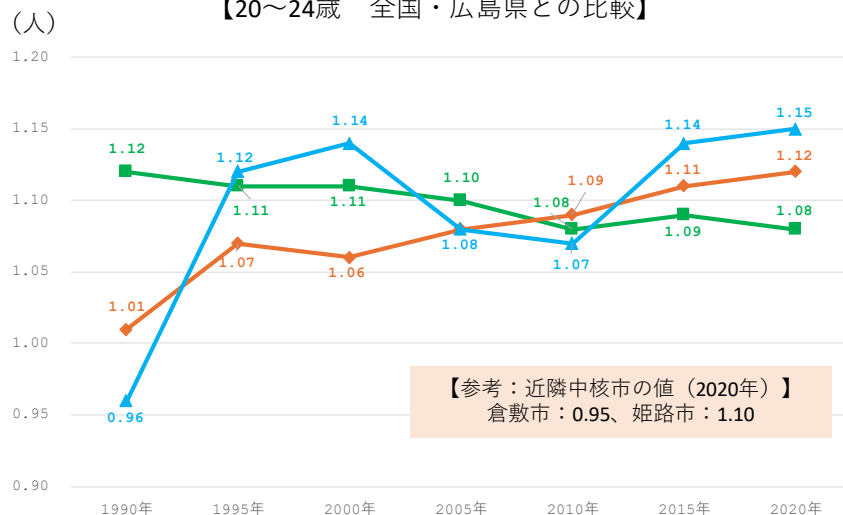


資料：福山市「福山市人口動態」

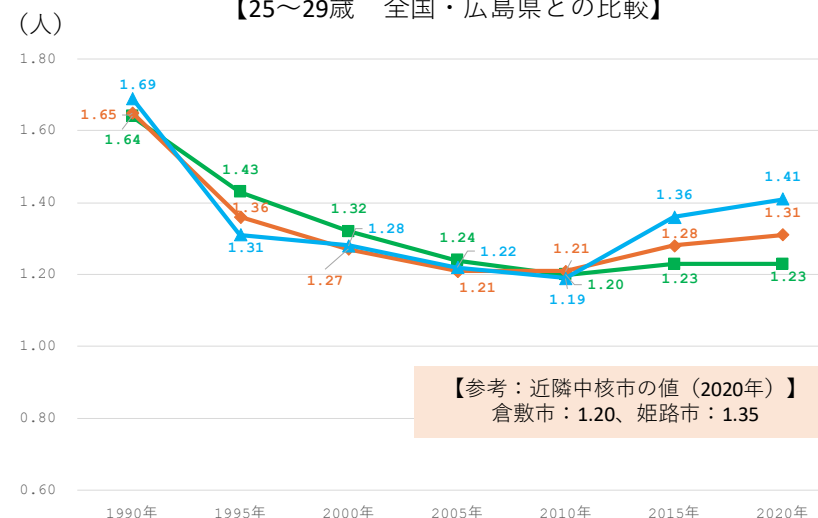
(2) 未婚女性1人に対する未婚男性数の推移

- 本市の未婚女性1人に対する未婚男性の数は、2000年（平成12年）から2010年（平成22年）までは減少傾向にあったが、その後増加傾向に転じており、2020年（令和2年）時点で、20～39歳の全ての年代で、全国・広島県の値を上回っている。（近隣中核市と比較しても、概ね上回っている）

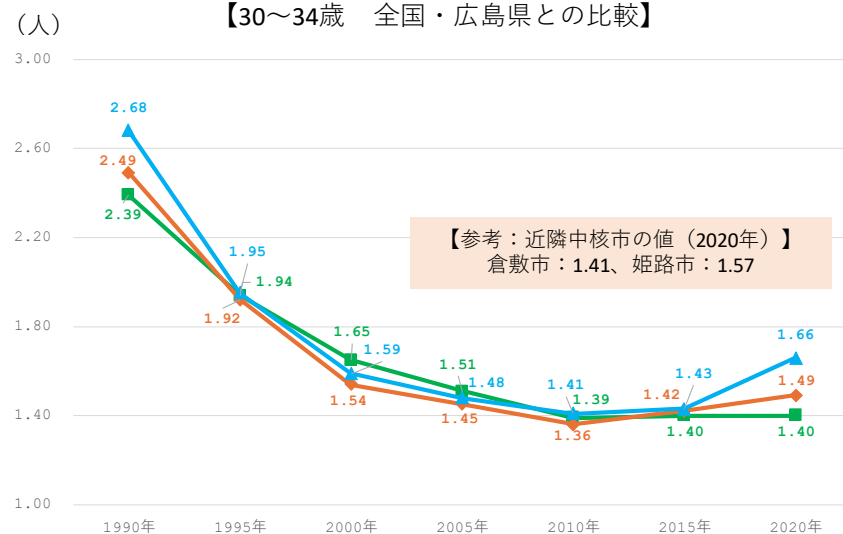
【20～24歳 全国・広島県との比較】



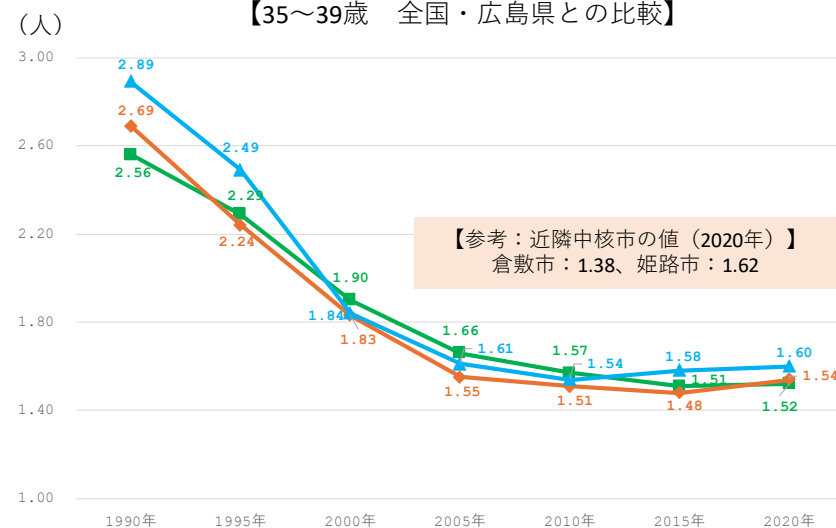
【25～29歳 全国・広島県との比較】



【30～34歳 全国・広島県との比較】



【35～39歳 全国・広島県との比較】

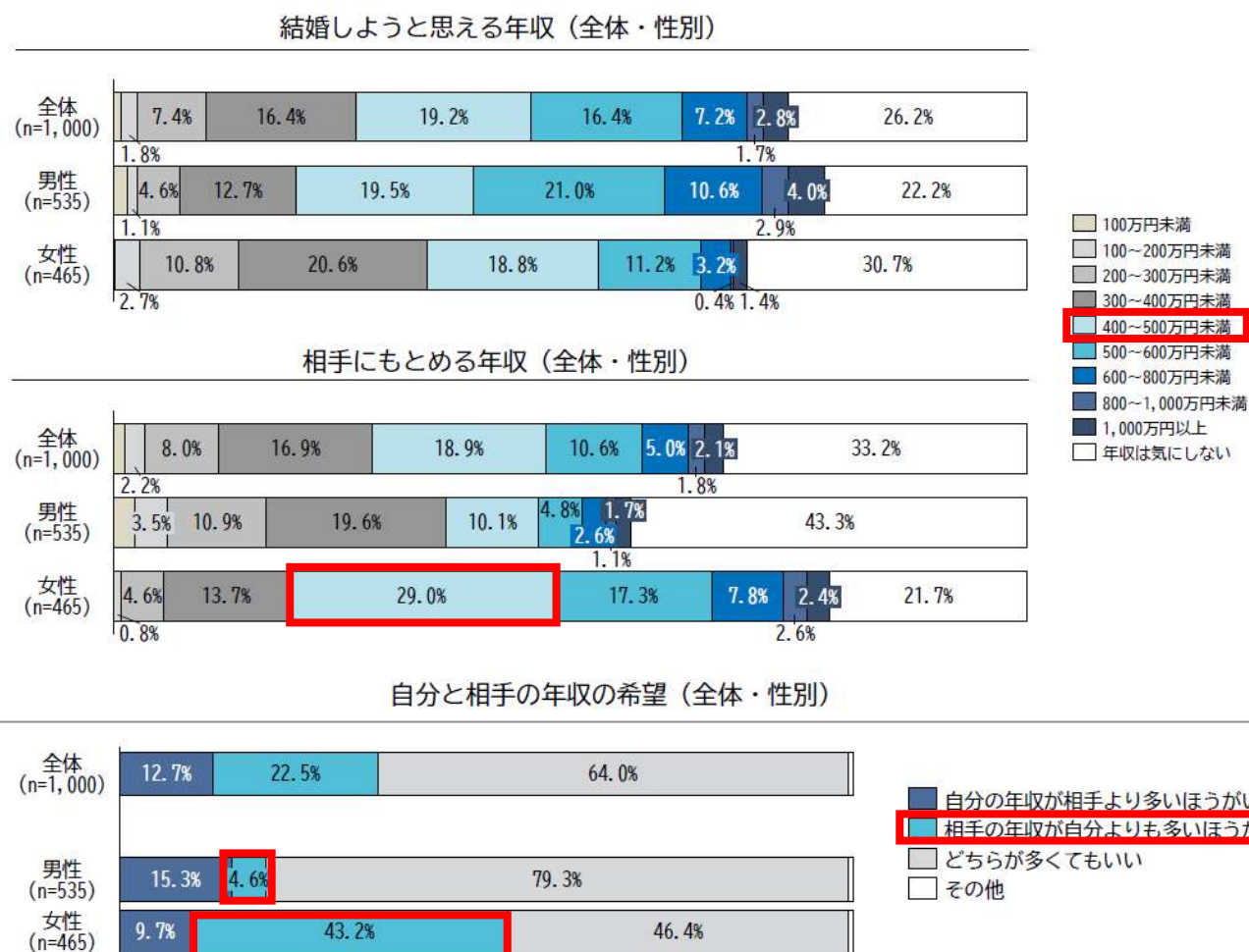


資料：総務省「国勢調査」

■ 全国 ■ 広島県 ▲ 福山市

(3) 結婚しようと思える収入に対する若者の意識（性別ごと）

- 20～39歳の広島県在住男女において、結婚しようと思える自分の年収・相手の年収について、全体では「年収は気にしない」という回答が最多だが、男女別にみると、女性では相手の年収について「400～500万円」という回答が最多となっている。
- また、自分と相手の年収を比較した際の考え方をみると、全体・男女別でも「どちらが多くてもいい」という回答が最多だが、「相手の年収が自分よりも多い方がいい」という回答について、男性が4.6%・女性が43.2%となっており、男女間でのギャップがある（女性の回答割合が、男性の約9.3倍）。

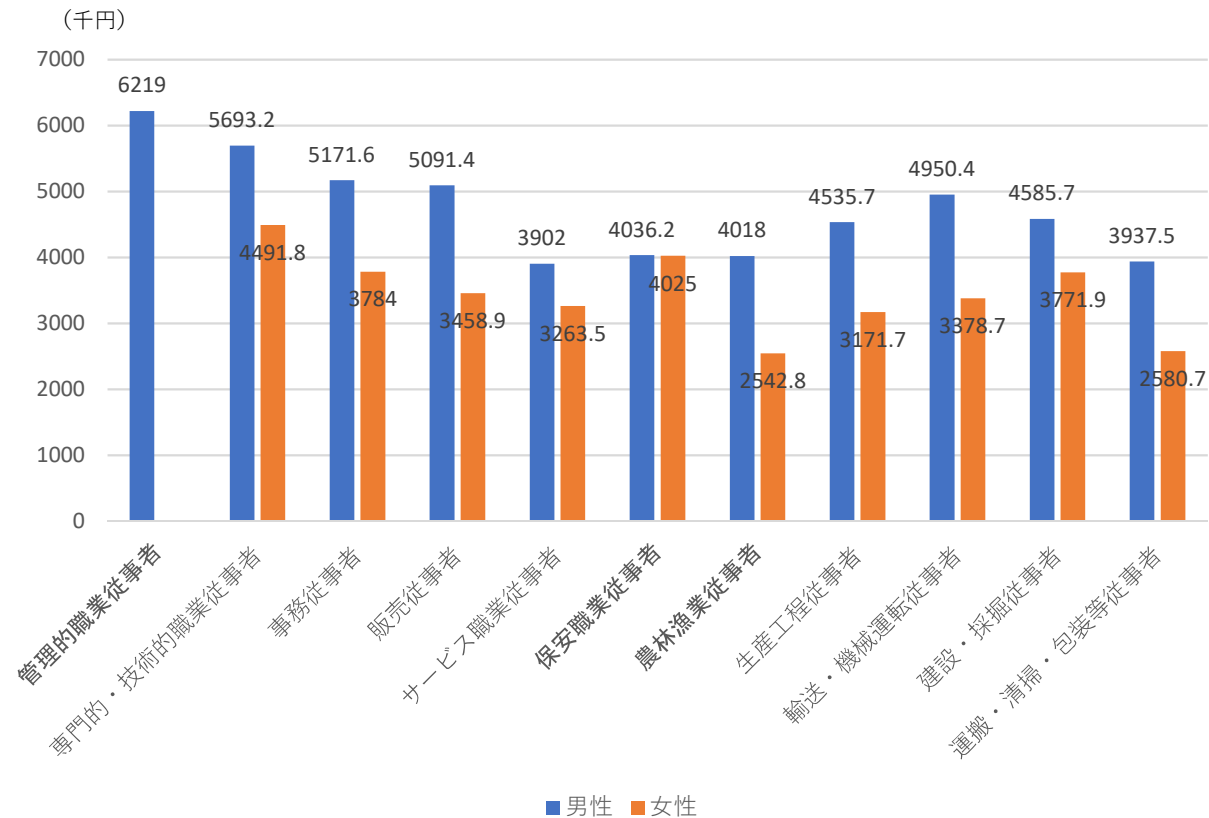


資料：広島県「県民の結婚の意識に関する調査」（2025年〔令和7年〕10月）

(4) 性別による賃金格差

- ・ 広島県の性別による賃金格差について、保安職業従事者以外は性別による賃金格差があり、女性の賃金は男性の6～8割程度にとどまっている。
- ・ 管理的職業従事者については、女性に関するデータなし。

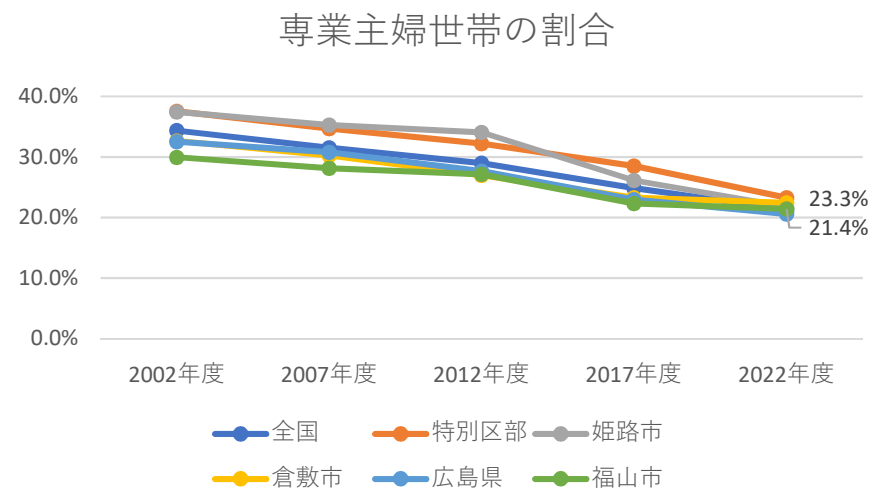
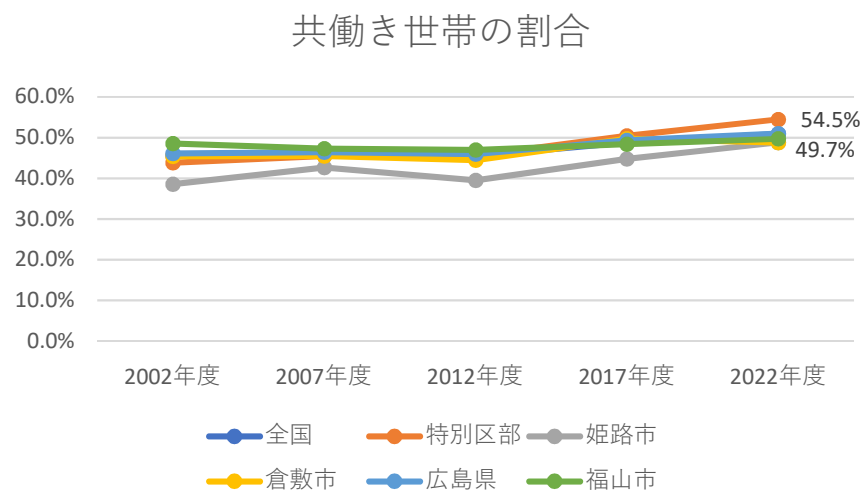
きまって支給する現金給与額×12＋年間賞与その他特別給与額（広島県）



資料：令和6年賃金構造基本統計調査

（５）共働き世帯と専業主婦世帯の推移（他自治体比較）

- 全国的に共働き世帯の割合の増加と専業主婦世帯の割合の低下がみられる。
- 特別区部と福山市では共働き世帯の割合に**4.8**ポイントの差がある。



資料：令和４年就業構造基本調査

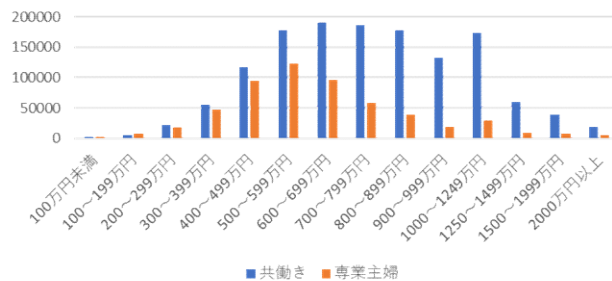
(6) 共働き世帯と専業主婦世帯の世帯所得と世帯数

- 子育て世代の世帯所得を共働き世帯、専業主婦世帯で比較すると、世帯数の多いボリュームゾーンは共働きの方が世帯年収が高く、福山市では200万円程度の差が見られる。
- 広島県と福山市を比較すると共働き世帯においてボリュームゾーンに100万円程度の差が見られる。

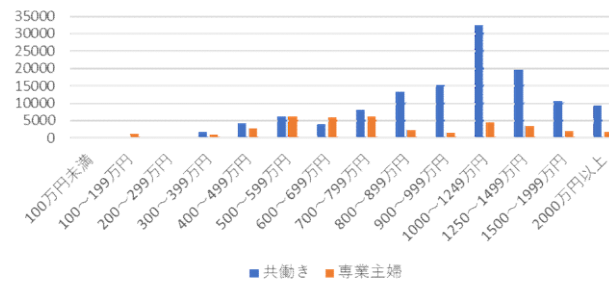
※共働き：夫婦ともに有業

専業主婦：夫が有業で妻が無業

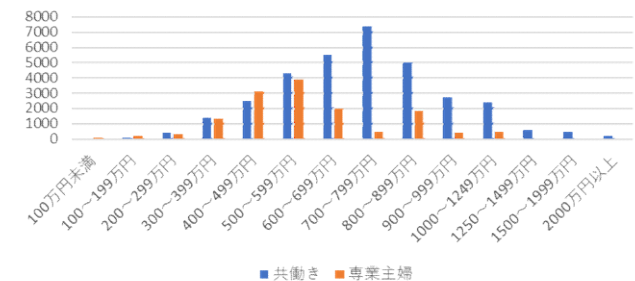
夫婦と子ども（6歳未満）からなる世帯の世帯所得別世帯数（全国・妻の年齢30～39歳）



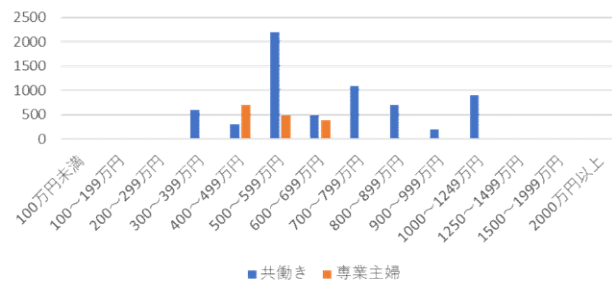
夫婦と子ども（6歳未満）からなる世帯の世帯所得別世帯数（特別区・妻の年齢30～39歳）



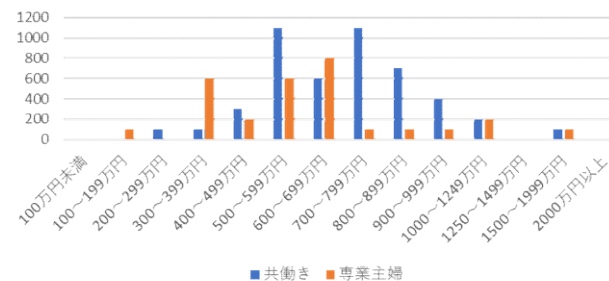
夫婦と子ども（6歳未満）からなる世帯の世帯所得別世帯数（広島県・妻の年齢30～39歳）



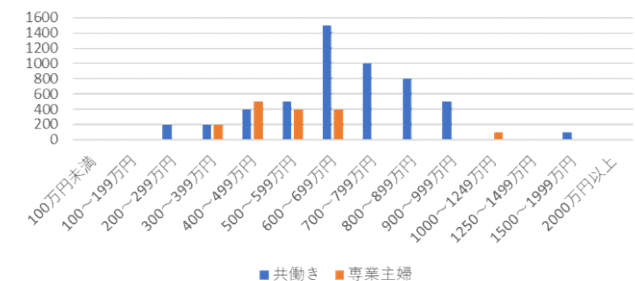
夫婦と子ども（6歳未満）からなる世帯の世帯所得別世帯数（姫路・妻の年齢30～39歳）



夫婦と子ども（6歳未満）からなる世帯の世帯所得別世帯数（倉敷・妻の年齢30～39歳）



夫婦と子ども（6歳未満）からなる世帯の世帯所得別世帯数（福山・妻の年齢30～39歳）

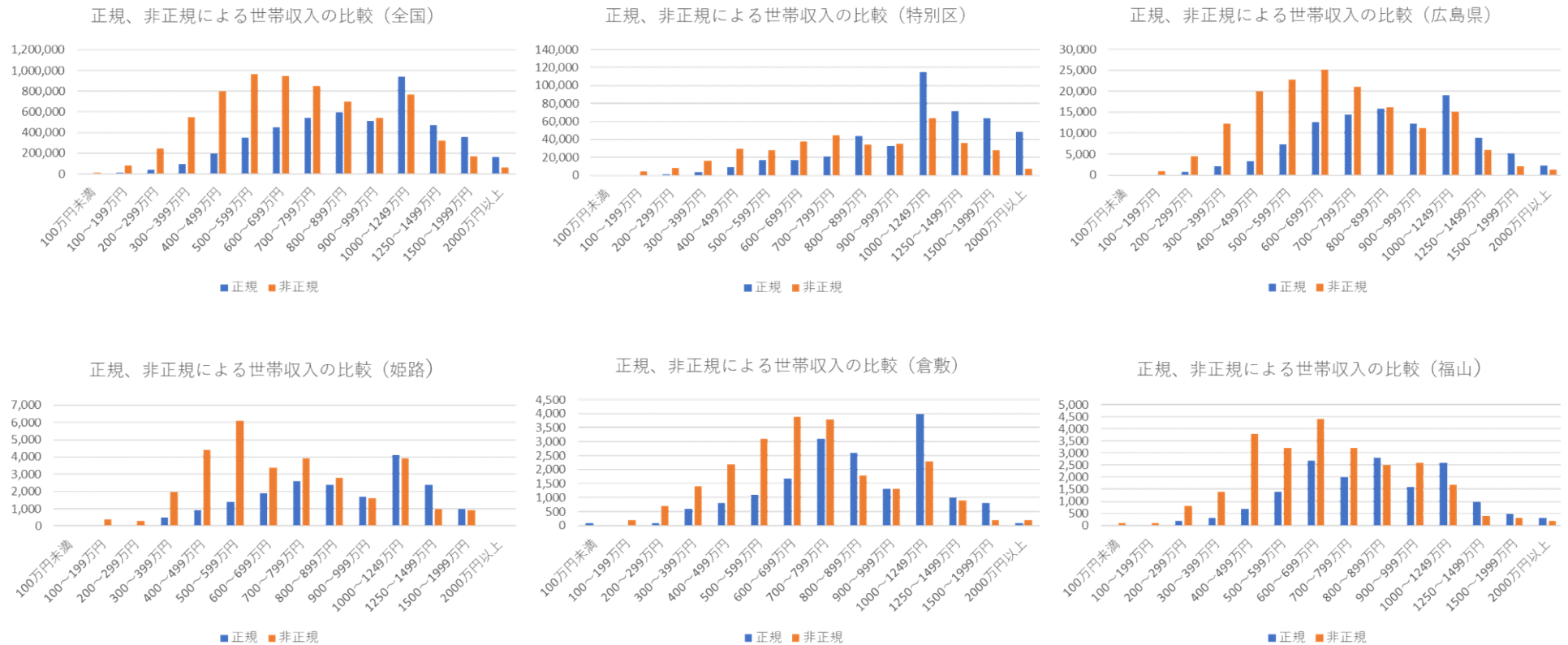


資料：令和4年就業構造基本調査

（７）共働き世帯の妻の雇用形態による世帯収入（他自治体比較）

- ・ 特別区部以外の多くは、妻が非正規の場合世帯収入600～699万円が最も多く、正規の場合は1000～1249万円が最も多い。
- ・ 他の地域では700～799万円はひとつのピークになっているが、福山市では妻が正規の場合、700～799万円の間が少ない。

※夫有業者、妻雇用者のうち正規、非正規による世帯収入の比較



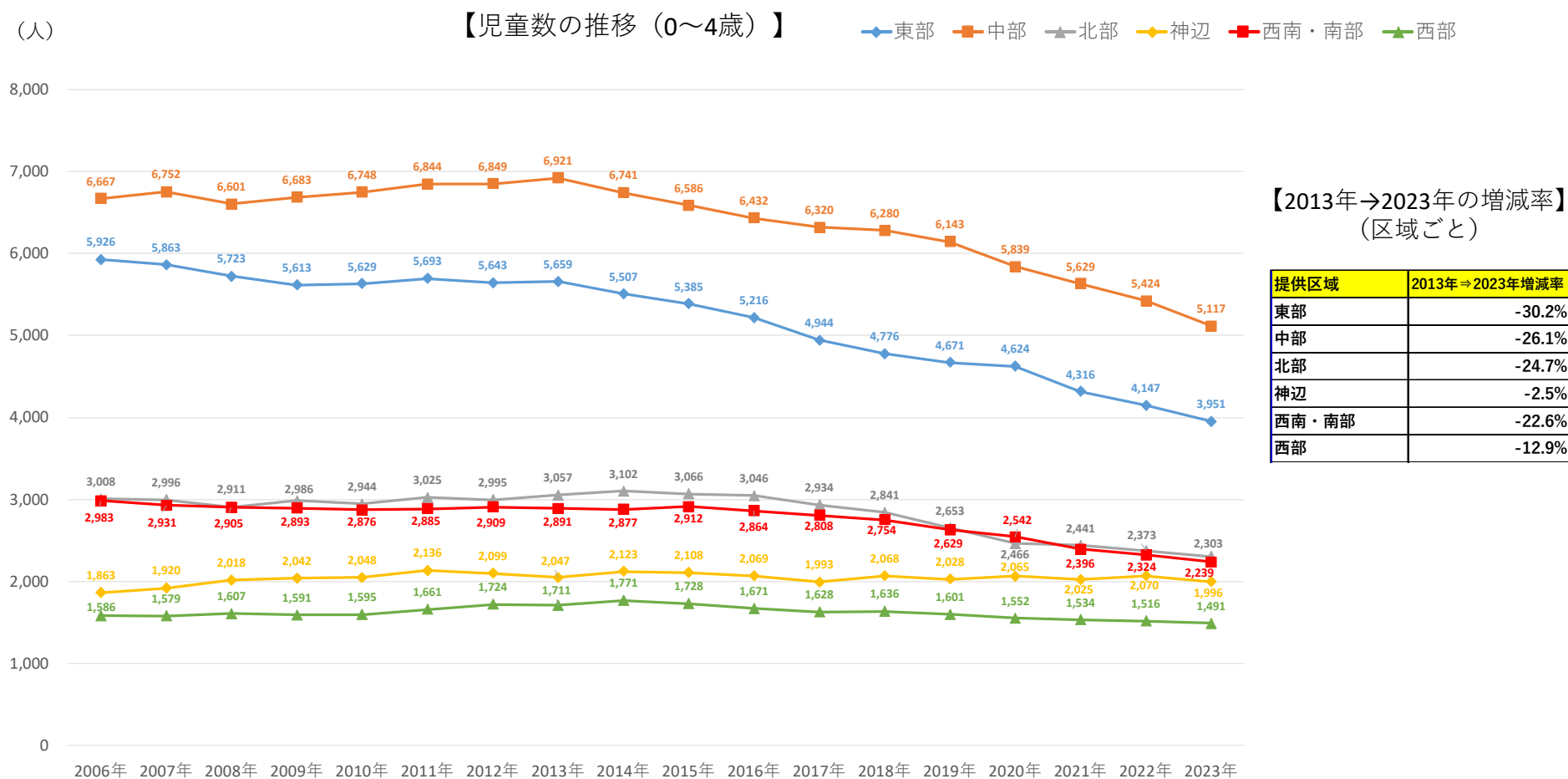
資料：令和４年就業構造基本調査

(8) 市内の少子化の状況（エリア別）

- 本市の少子化の状況（0～4歳までの児童数の推移）を教育・保育提供区域（※）ごとにみると、直近10年間（2013年→2023年）の増減率について各区域で差が生じている。

※ 市町村が、地理的条件・人口・交通事情その他の社会的条件、教育・保育施設の整備の状況等を総合的に勘案して定める区域

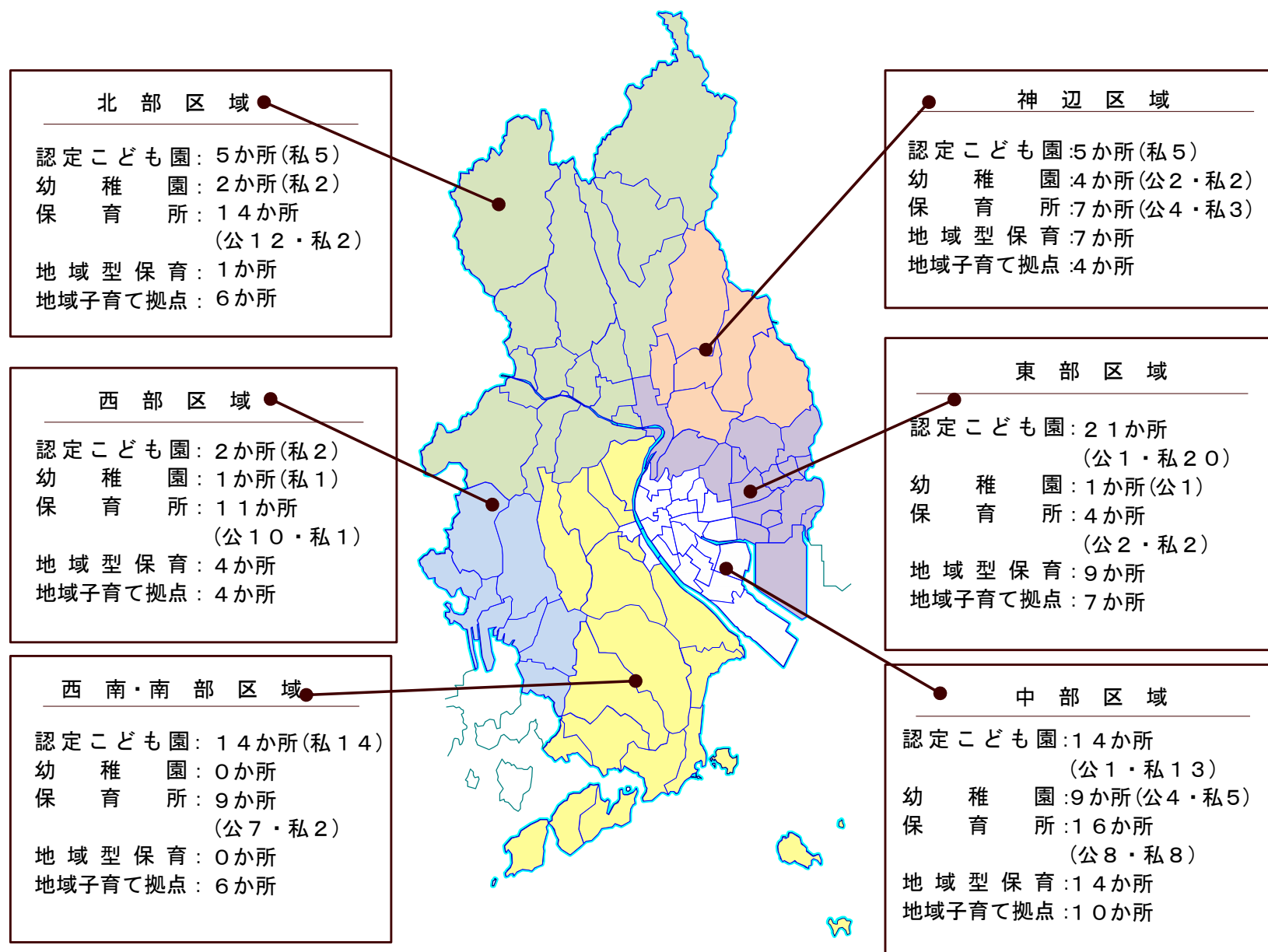
※ 本市では、東部、中部、北部、神辺、西南・南部、西部の6つの区域を設定（具体的な地域については次ページ参照）



資料：福山市「住民基本台帳」（各年3月末時点の数値）

※住民基本台帳法等の一部改正に伴い、2013年から集計方法が一部変更（2012年まで：外国人を含まない、2013年以降：外国人を含む）

【本市の教育・保育提供区域 及び 区域ごとの保育所等整備状況（2025年（令和7年）4月1日時点）】



(9) 5歳刻み(15-39歳)の転入超過数（福山市、姫路市、倉敷市）

15-34歳（総数）

	姫路市			倉敷市			福山市		
	転入者数	転出者数	転入超過数	転入者数	転出者数	転入超過数	転入者数	転出者数	転入超過数
2020	7,096	7,817	▲ 721	6,689	6,622	67	5,449	6,101	▲ 652
2021	7,131	7,924	▲ 793	6,396	6,758	▲ 362	5,684	6,189	▲ 505
2022	7,117	8,036	▲ 919	6,370	6,855	▲ 485	5,345	6,082	▲ 737
2023	7,048	7,866	▲ 818	6,344	6,768	▲ 424	5,234	6,140	▲ 906
2024	7,110	7,933	▲ 823	6,114	6,796	▲ 682	5,052	6,101	▲ 1,049

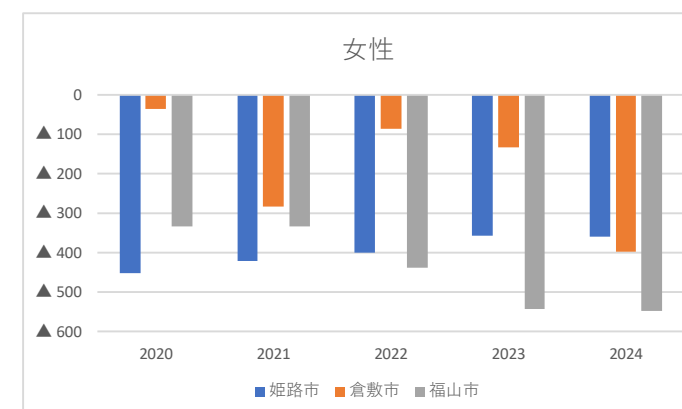
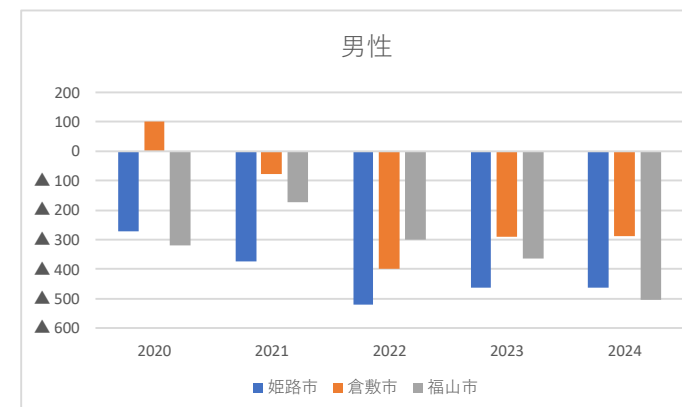
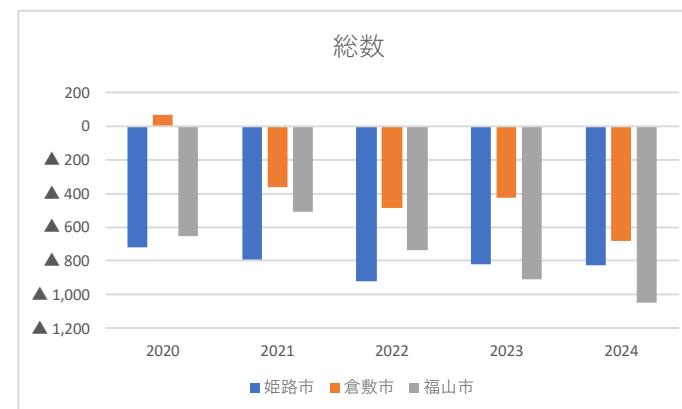
15-34歳（男性）

	姫路市			倉敷市			福山市		
	転入者数	転出者数	転入超過数	転入者数	転出者数	転入超過数	転入者数	転出者数	転入超過数
2020	3,972	4,242	▲ 270	3,573	3,471	102	2,969	3,288	▲ 319
2021	3,941	4,314	▲ 373	3,358	3,436	▲ 78	3,129	3,301	▲ 172
2022	3,867	4,387	▲ 520	3,231	3,631	▲ 400	2,936	3,235	▲ 299
2023	3,828	4,290	▲ 462	3,284	3,575	▲ 291	2,885	3,248	▲ 363
2024	3,930	4,393	▲ 463	3,251	3,538	▲ 287	2,779	3,281	▲ 502

15-34歳（女性）

	姫路市			倉敷市			福山市		
	転入者数	転出者数	転入超過数	転入者数	転出者数	転入超過数	転入者数	転出者数	転入超過数
2020	3,124	3,575	▲ 451	3,116	3,151	▲ 35	2,480	2,813	▲ 333
2021	3,190	3,610	▲ 420	3,038	3,322	▲ 284	2,555	2,888	▲ 333
2022	3,250	3,649	▲ 399	3,139	3,224	▲ 85	2,409	2,847	▲ 438
2023	3,220	3,576	▲ 356	3,060	3,193	▲ 133	2,349	2,892	▲ 543
2024	3,180	3,540	▲ 360	2,863	3,259	▲ 396	2,273	2,820	▲ 547

資料：総務省「住民基本台帳人口移動報告」



15－19歳（総数）

	姫路市			倉敷市			福山市		
	転入者数	転出者数	転入超過数	転入者数	転出者数	転入超過数	転入者数	転出者数	転入超過数
2020	630	669	▲ 39	620	638	▲ 18	578	670	▲ 92
2021	591	709	▲ 118	566	648	▲ 82	621	740	▲ 119
2022	575	649	▲ 74	511	627	▲ 116	477	630	▲ 153
2023	571	625	▲ 54	521	645	▲ 124	456	613	▲ 157
2024	543	610	▲ 67	439	546	▲ 107	443	645	▲ 202

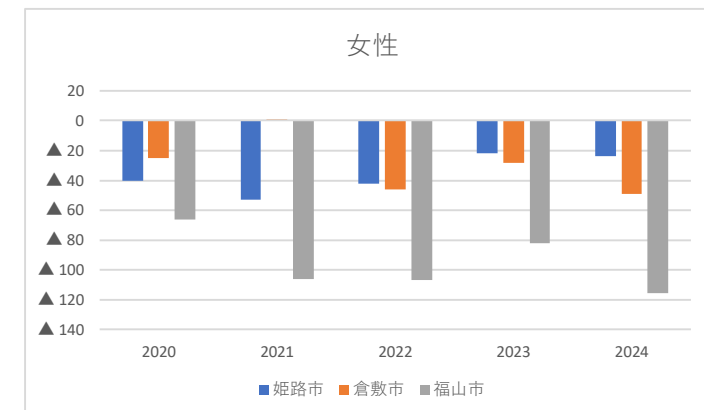
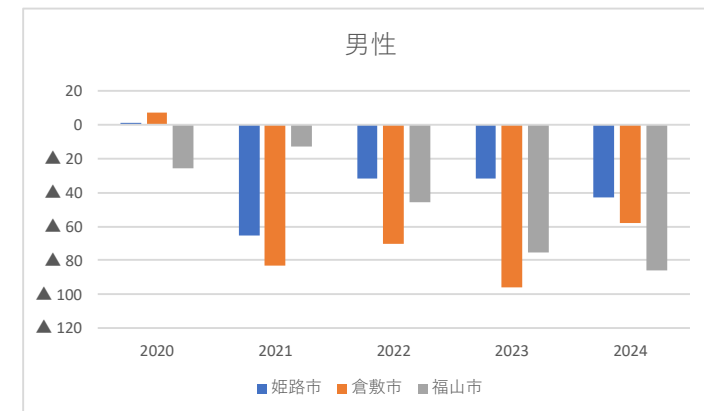
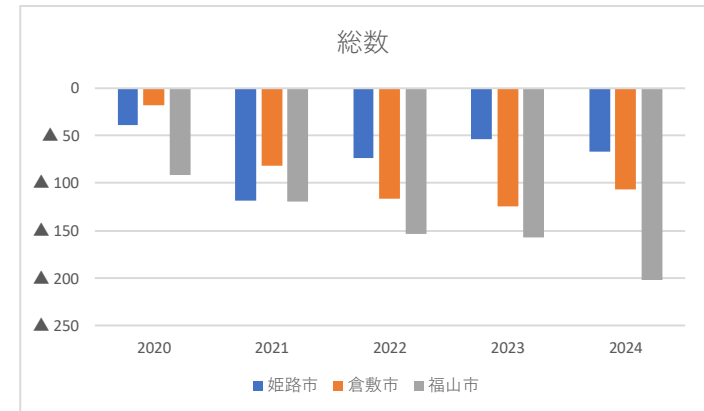
15－19歳（男性）

	姫路市			倉敷市			福山市		
	転入者数	転出者数	転入超過数	転入者数	転出者数	転入超過数	転入者数	転出者数	転入超過数
2020	410	409	1	389	382	7	392	418	▲ 26
2021	377	442	▲ 65	296	379	▲ 83	422	435	▲ 13
2022	359	391	▲ 32	293	363	▲ 70	314	360	▲ 46
2023	343	375	▲ 32	296	392	▲ 96	282	357	▲ 75
2024	325	368	▲ 43	248	306	▲ 58	276	362	▲ 86

15－19歳（女性）

	姫路市			倉敷市			福山市		
	転入者数	転出者数	転入超過数	転入者数	転出者数	転入超過数	転入者数	転出者数	転入超過数
2020	220	260	▲ 40	231	256	▲ 25	186	252	▲ 66
2021	214	267	▲ 53	270	269	1	199	305	▲ 106
2022	216	258	▲ 42	218	264	▲ 46	163	270	▲ 107
2023	228	250	▲ 22	225	253	▲ 28	174	256	▲ 82
2024	218	242	▲ 24	191	240	▲ 49	167	283	▲ 116

資料：総務省「住民基本台帳人口移動報告」



20-24歳（総数）

	姫路市			倉敷市			福山市		
	転入者数	転出者数	転入超過数	転入者数	転出者数	転入超過数	転入者数	転出者数	転入超過数
2020	2,530	2,985	▲ 455	2,418	2,446	▲ 28	2,126	2,407	▲ 281
2021	2,610	3,043	▲ 433	2,388	2,525	▲ 137	2,100	2,486	▲ 386
2022	2,671	3,082	▲ 411	2,398	2,467	▲ 69	2,100	2,505	▲ 405
2023	2,521	2,992	▲ 471	2,291	2,430	▲ 139	2,028	2,493	▲ 465
2024	2,504	2,980	▲ 476	2,231	2,578	▲ 347	1,913	2,434	▲ 521

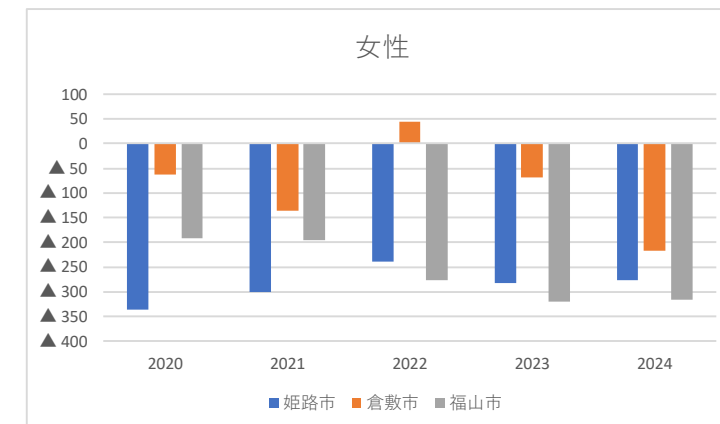
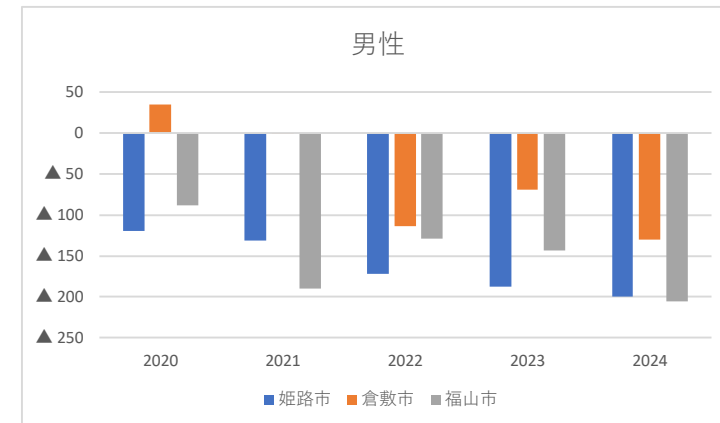
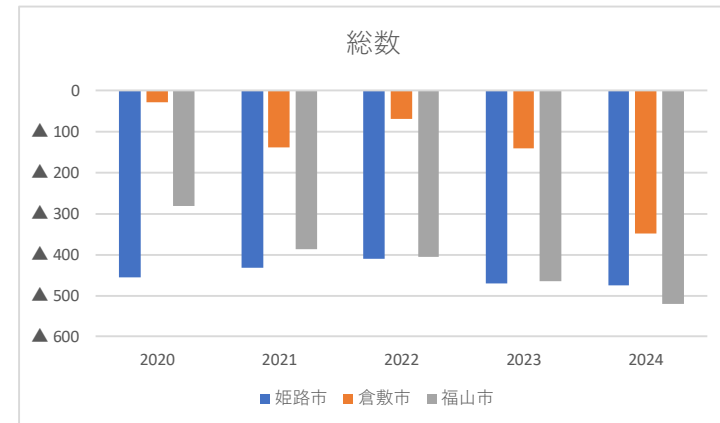
20-24歳（男性）

	姫路市			倉敷市			福山市		
	転入者数	転出者数	転入超過数	転入者数	転出者数	転入超過数	転入者数	転出者数	転入超過数
2020	1,434	1,554	▲ 120	1,253	1,219	34	1,169	1,258	▲ 89
2021	1,445	1,577	▲ 132	1,235	1,237	▲ 2	1,122	1,312	▲ 190
2022	1,475	1,647	▲ 172	1,170	1,284	▲ 114	1,151	1,280	▲ 129
2023	1,396	1,584	▲ 188	1,132	1,202	▲ 70	1,132	1,276	▲ 144
2024	1,403	1,603	▲ 200	1,163	1,293	▲ 130	1,057	1,262	▲ 205

20-24歳（女性）

	姫路市			倉敷市			福山市		
	転入者数	転出者数	転入超過数	転入者数	転出者数	転入超過数	転入者数	転出者数	転入超過数
2020	1,096	1,431	▲ 335	1,165	1,227	▲ 62	957	1,149	▲ 192
2021	1,165	1,466	▲ 301	1,153	1,288	▲ 135	978	1,174	▲ 196
2022	1,196	1,435	▲ 239	1,228	1,183	45	949	1,225	▲ 276
2023	1,125	1,408	▲ 283	1,159	1,228	▲ 69	896	1,217	▲ 321
2024	1,101	1,377	▲ 276	1,068	1,286	▲ 218	856	1,172	▲ 316

資料：総務省「住民基本台帳人口移動報告」



25－29歳（総数）

	姫路市			倉敷市			福山市		
	転入者数	転出者数	転入超過数	転入者数	転出者数	転入超過数	転入者数	転出者数	転入超過数
2020	2,356	2,538	▲ 182	2,288	2,145	143	1,703	1,879	▲ 176
2021	2,439	2,690	▲ 251	2,150	2,178	▲ 28	1,810	1,807	3
2022	2,374	2,709	▲ 335	2,150	2,367	▲ 217	1,700	1,828	▲ 128
2023	2,463	2,680	▲ 217	2,204	2,314	▲ 110	1,695	1,897	▲ 202
2024	2,579	2,810	▲ 231	2,176	2,329	▲ 153	1,704	1,897	▲ 193

25－29歳（男性）

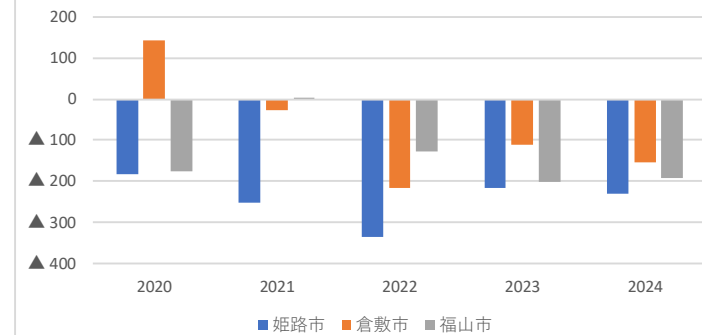
	姫路市			倉敷市			福山市		
	転入者数	転出者数	転入超過数	転入者数	転出者数	転入超過数	転入者数	転出者数	転入超過数
2020	1,278	1,387	▲ 109	1,188	1,122	66	857	1,010	▲ 153
2021	1,285	1,471	▲ 186	1,131	1,071	60	939	943	▲ 4
2022	1,234	1,478	▲ 244	1,080	1,221	▲ 141	899	978	▲ 79
2023	1,285	1,462	▲ 177	1,129	1,208	▲ 79	878	976	▲ 98
2024	1,351	1,563	▲ 212	1,128	1,193	▲ 65	915	1,032	▲ 117

25－29歳（女性）

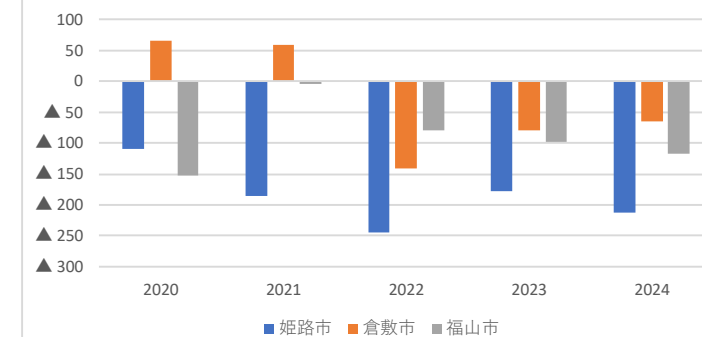
	姫路市			倉敷市			福山市		
	転入者数	転出者数	転入超過数	転入者数	転出者数	転入超過数	転入者数	転出者数	転入超過数
2020	1,078	1,151	▲ 73	1,100	1,023	77	846	869	▲ 23
2021	1,154	1,219	▲ 65	1,019	1,107	▲ 88	871	864	7
2022	1,140	1,231	▲ 91	1,070	1,146	▲ 76	801	850	▲ 49
2023	1,178	1,218	▲ 40	1,075	1,106	▲ 31	817	921	▲ 104
2024	1,228	1,247	▲ 19	1,048	1,136	▲ 88	789	865	▲ 76

資料：総務省「住民基本台帳人口移動報告」

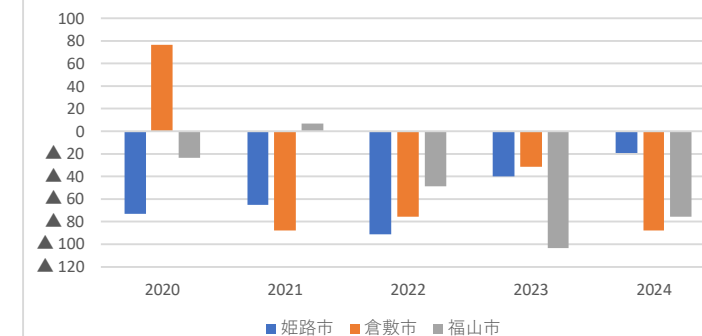
総数



男性



女性



30－34歳（総数）

	姫路市			倉敷市			福山市		
	転入者数	転出者数	転入超過数	転入者数	転出者数	転入超過数	転入者数	転出者数	転入超過数
2020	1,580	1,625	▲ 45	1,363	1,393	▲ 30	1,042	1,145	▲ 103
2021	1,491	1,482	9	1,292	1,407	▲ 115	1,153	1,156	▲ 3
2022	1,497	1,596	▲ 99	1,311	1,394	▲ 83	1,068	1,119	▲ 51
2023	1,493	1,569	▲ 76	1,328	1,379	▲ 51	1,055	1,137	▲ 82
2024	1,484	1,533	▲ 49	1,268	1,343	▲ 75	992	1,125	▲ 133

30－34歳（男性）

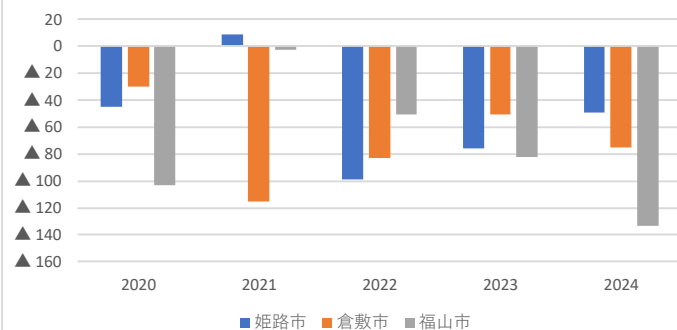
	姫路市			倉敷市			福山市		
	転入者数	転出者数	転入超過数	転入者数	転出者数	転入超過数	転入者数	転出者数	転入超過数
2020	850	892	▲ 42	743	748	▲ 5	551	602	▲ 51
2021	834	824	10	696	749	▲ 53	646	611	35
2022	799	871	▲ 72	688	763	▲ 75	572	617	▲ 45
2023	804	869	▲ 65	727	773	▲ 46	593	639	▲ 46
2024	851	859	▲ 8	712	746	▲ 34	531	625	▲ 94

30－34歳（女性）

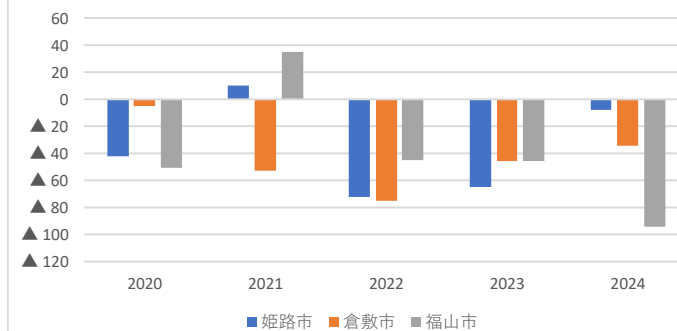
	姫路市			倉敷市			福山市		
	転入者数	転出者数	転入超過数	転入者数	転出者数	転入超過数	転入者数	転出者数	転入超過数
2020	730	733	▲ 3	620	645	▲ 25	491	543	▲ 52
2021	657	658	▲ 1	596	658	▲ 62	507	545	▲ 38
2022	698	725	▲ 27	623	631	▲ 8	496	502	▲ 6
2023	689	700	▲ 11	601	606	▲ 5	462	498	▲ 36
2024	633	674	▲ 41	556	597	▲ 41	461	500	▲ 39

資料：総務省「住民基本台帳人口移動報告」

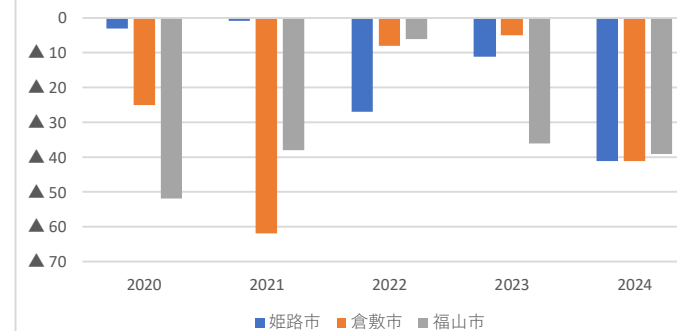
総数



男性

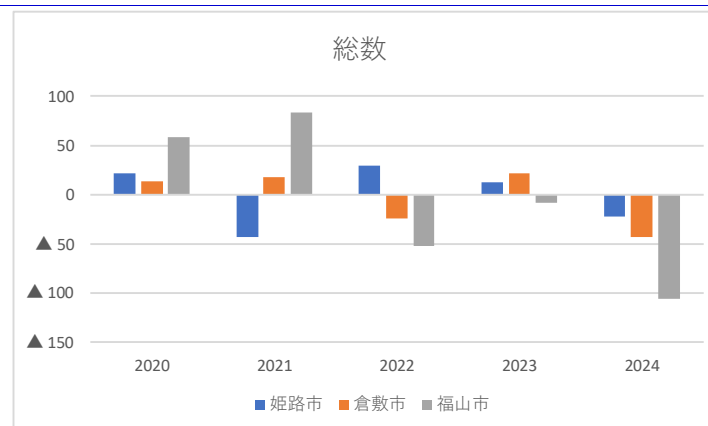


女性



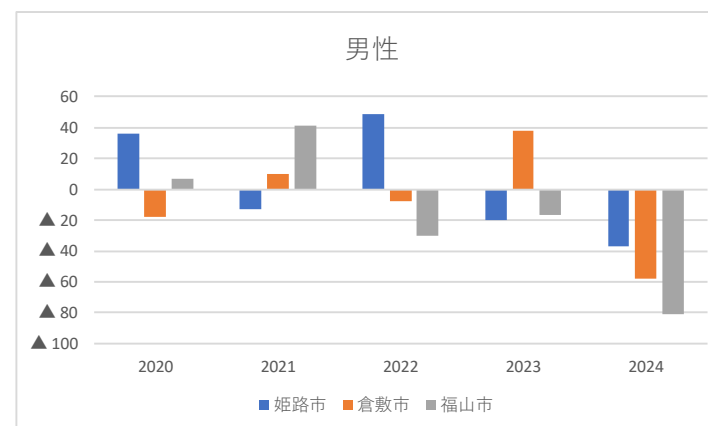
35－39歳（総数）

	姫路市			倉敷市			福山市		
	転入者数	転出者数	転入超過数	転入者数	転出者数	転入超過数	転入者数	転出者数	転入超過数
2020	1,051	1,029	22	935	921	14	810	751	59
2021	938	981	▲ 43	867	849	18	793	710	83
2022	1,000	970	30	838	862	▲ 24	723	775	▲ 52
2023	931	918	13	868	846	22	731	739	▲ 8
2024	926	948	▲ 22	772	815	▲ 43	628	734	▲ 106



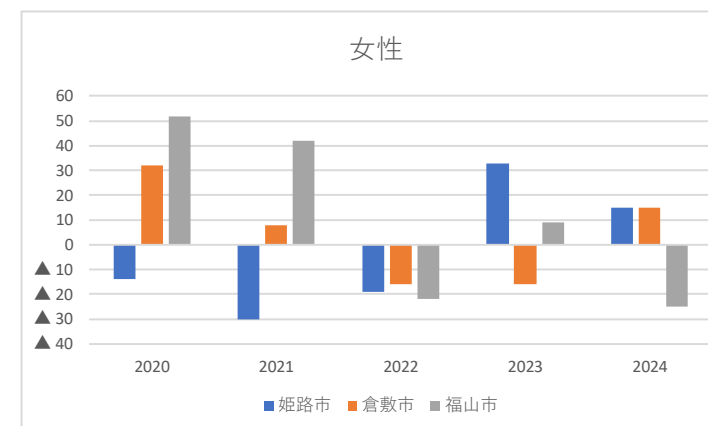
35－39歳（男性）

	姫路市			倉敷市			福山市		
	転入者数	転出者数	転入超過数	転入者数	転出者数	転入超過数	転入者数	転出者数	転入超過数
2020	607	571	36	526	544	▲ 18	457	450	7
2021	541	554	▲ 13	496	486	10	455	414	41
2022	603	554	49	483	491	▲ 8	411	441	▲ 30
2023	552	572	▲ 20	505	467	38	410	427	▲ 17
2024	547	584	▲ 37	428	486	▲ 58	359	440	▲ 81



35－39歳（女性）

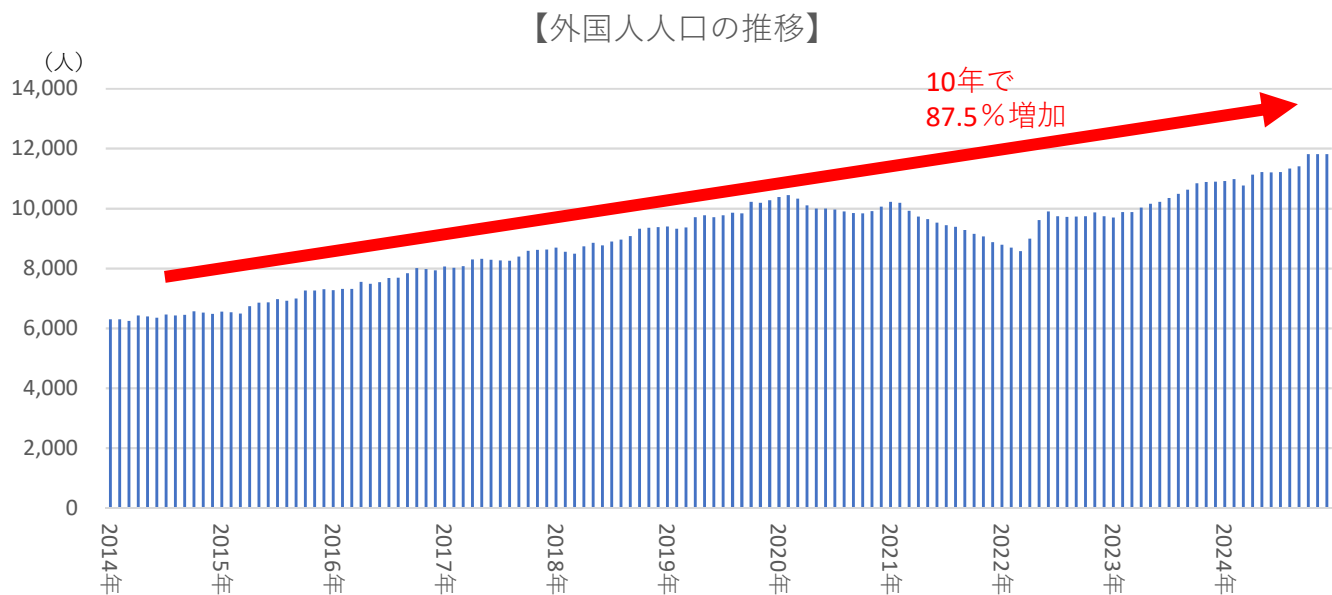
	姫路市			倉敷市			福山市		
	転入者数	転出者数	転入超過数	転入者数	転出者数	転入超過数	転入者数	転出者数	転入超過数
2020	444	458	▲ 14	409	377	32	353	301	52
2021	397	427	▲ 30	371	363	8	338	296	42
2022	397	416	▲ 19	355	371	▲ 16	312	334	▲ 22
2023	379	346	33	363	379	▲ 16	321	312	9
2024	379	364	15	344	329	15	269	294	▲ 25



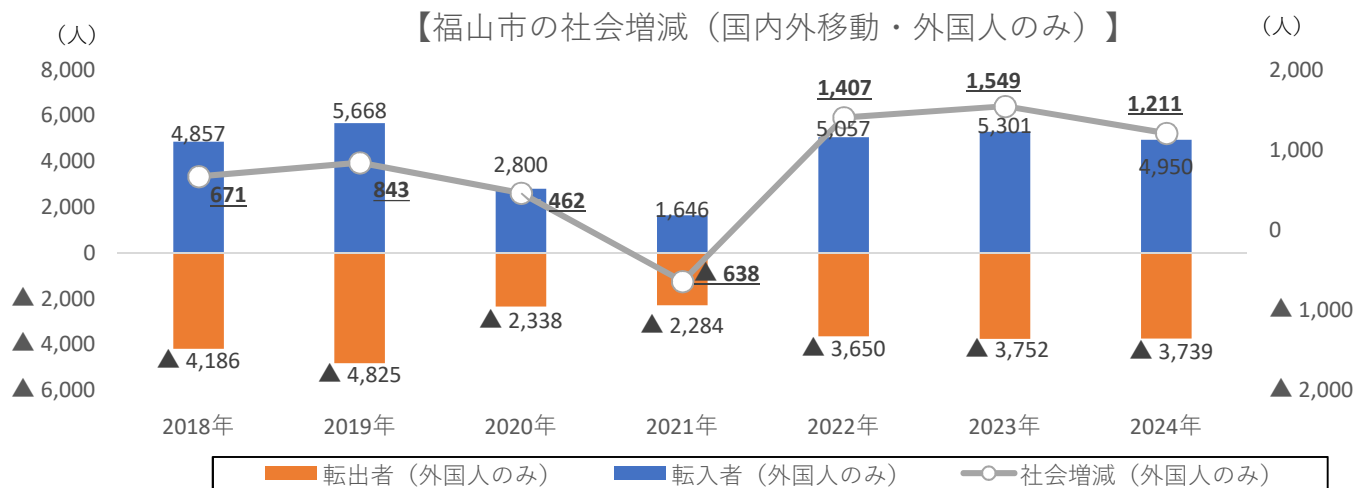
資料：総務省「住民基本台帳人口移動報告」

(10) 外国人人口の推移と特徴

- 2014年（平成26年）に6,000人台だった外国人人口は、2024年（令和6年）に約12,000人まで増え、増加傾向にある。
- 外国人の転入出状況は、コロナ禍を除き転入超過の状況が続いている。



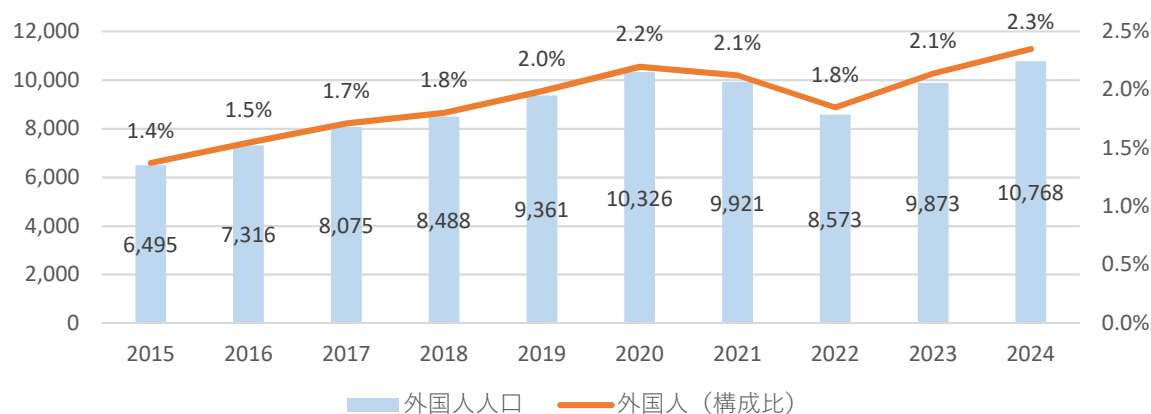
資料：福山市「住民基本台帳」



資料：総務省「住民基本台帳人口移動報告」

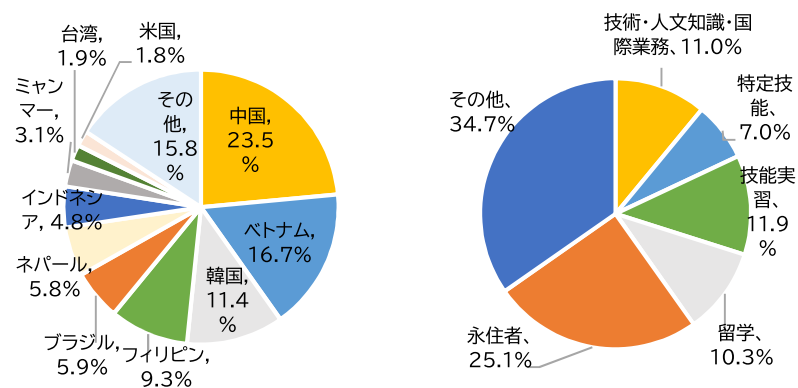
○外国人の状況

- 本市においては、2024年3月末時点では10,768人の外国人が在住している。
- 本市の外国人の国籍割合をみると、ベトナム（30.9%）が最も多く、中国（17.2%）、フィリピン（16.9%）、インドネシア（7.5%）、ネパール（7.1%）と、東南アジアの国が多い。
- また、在留資格割合については、技能実習（27.2%）の割合が最も高く、次いで永住者（19.0%）、特定技能（13.8%）となっており、就労を目的とした外国人が多い。
- 本市は、技能実習生等の受入れを行う監理団体の数が他都市と比較しても多いため、国外から外国人技能実習生の一時的な受入れ先となっている。



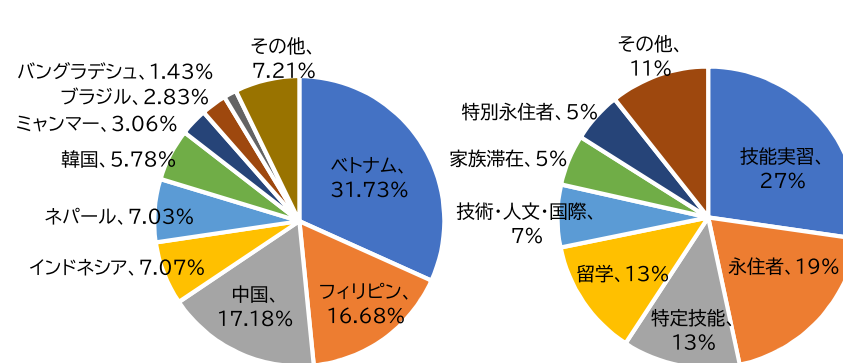
資料：福山市資料

【日本の外国人国籍と在留資格割合】



資料：法務省「令和6年6月末現在における在留外国人数について」

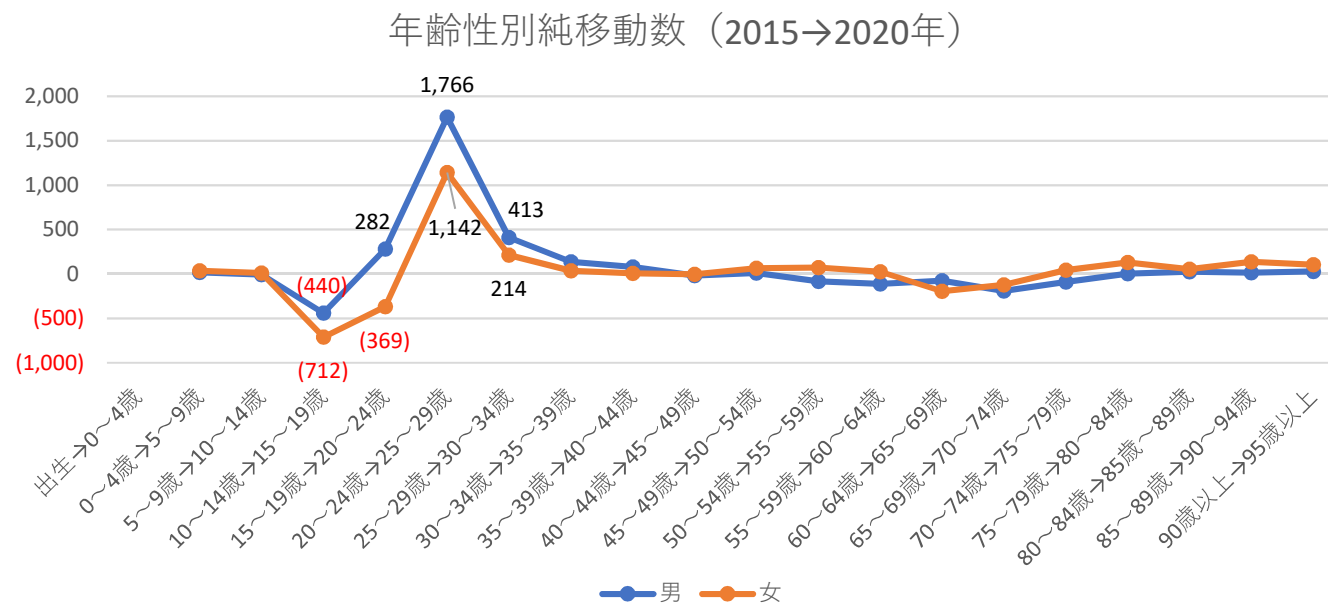
【福山市の外国人国籍と在留資格割合】



資料：福山市資料

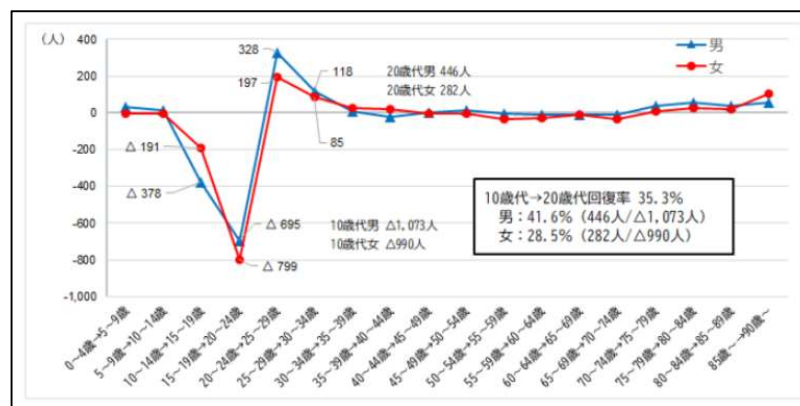
(1 1) 若者の回復率

- 豊岡市と同様の考え方で若者回復率について調査。20歳代の転入超過数の10歳代の転出超過数に対する比率を表したものの。
- 男性は、10代が158人の転出超過、20代が2,179人の転入超過、若者回復率1,379% (2,179人/▲158人)
- 女性は、10代が1,081人の転出超過、20代が1,356人の転入超過、若者回復率125% (1,356人/▲1,081人)
- 全体（男女合計）では、10歳代→20歳代回復率285%となっている。

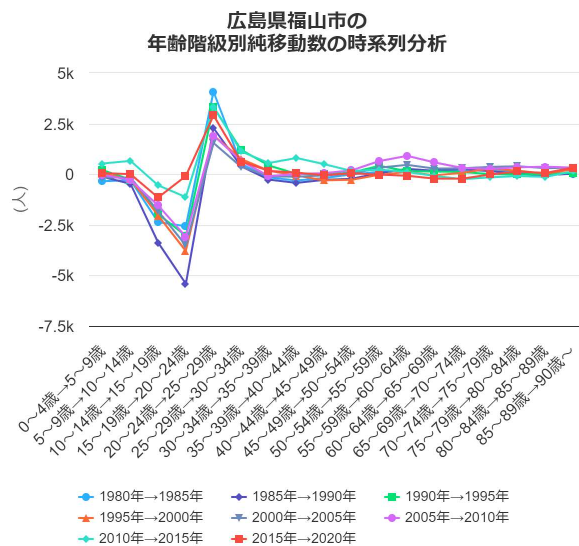


資料：福山市資料

【参考】豊岡市HP参照



○若者の回復率（RAIDA－レイダーの活用）



分析結果

福山市の純移動数は生産年齢人口の若年層で大きな流出が続く、近年は年少人口の流入が目立つ一方、老年人口は一貫して流入傾向が強い。」

●年少人口の純移動数

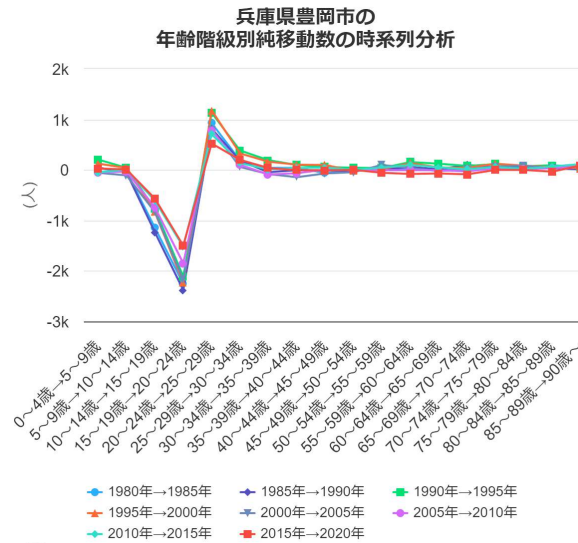
0～14歳はほぼ全期間で流出傾向だが、2010年→2015年のみ大きく流入（500～600程度）している。特に直近で転入促進の成果が見られる。

●生産年齢人口の純移動数

15～19歳と20～24歳は全期間で大きな流出（1000～5000程度）が続く。25～34歳は一貫して流入（数百～3000程度）しており、若年層の流出と中堅層の流入が対照的。

●老年人口の純移動数

65歳以上はほぼ全期間で流入傾向（100～300程度）で、特に75歳以上で流入が顕著。高齢者の転入が続いている。



分析結果

生産年齢人口の若年層で大幅な純流出が続いていることが最大の特徴です。」

●年少人口の純移動数

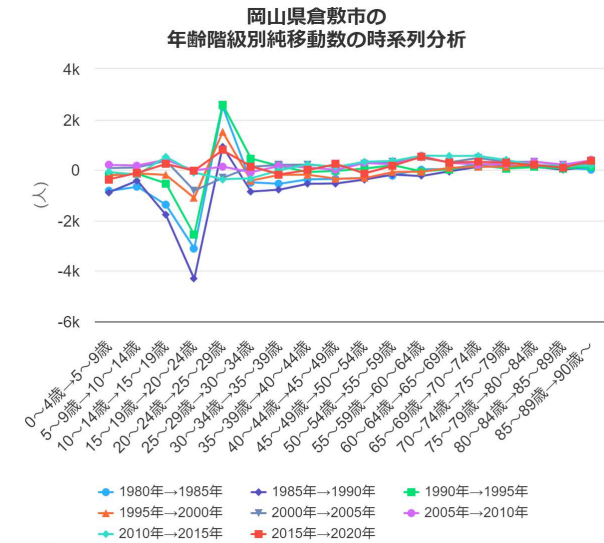
0～14歳の年少人口は、時期によって増減が見られますが、近年は0～4歳や5～9歳で小幅なマイナスが続いています。特に2000年以降は純移動数がマイナス傾向で、年少人口の流出が目立ちます。

●生産年齢人口の純移動数

15～24歳の若年層で一貫して大きなマイナス（毎期-1000人以上）が続いており、他の年齢階級と比べても突出しています。一方、20～29歳ではプラスですが、若年層の流出を補うには至っていません。

●老年人口の純移動数

65歳以上の老年人口は、ほぼ全期間で小幅なプラスが続いており、特に85歳以上で安定した純流入が見られます。



分析結果

『1980年代から2010年代にかけて、年少人口と生産年齢人口の若年層で一貫して純移動数がマイナス傾向にあり、特に15～24歳の流出が顕著である一方、老年人口は全期間を通じて純移動数がプラスで推移している。』

●年少人口の純移動数

0～14歳の純移動数は、1980年代から2010年代までほぼ全期間でマイナスが続いており、特に1980年代は-800前後の大きな流出が見られる。2000年代に一時的にプラスへ転じるが、2010年代には再びマイナスとなり、年少人口の流出傾向が続いている。

●生産年齢人口の純移動数

15～24歳の若年層で大きなマイナスが目立ち、1980年代は-3000～-4000程度、1990年代以降も-1000以上の流出が続く。25～34歳では一部プラスの時期もあるが、全体として若年層の流出が顕著である。

●老年人口の純移動数

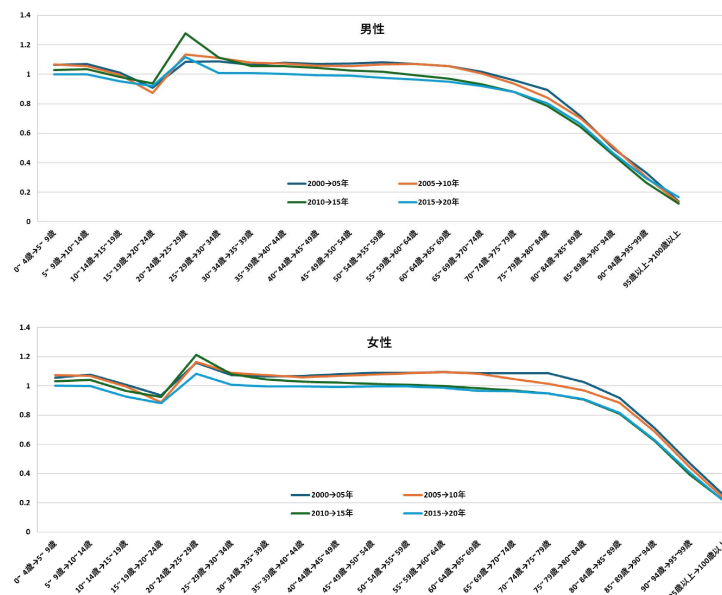
65歳以上の老年人口は、全期間を通じて純移動数がプラスで推移しており、特に2000年代以降は200～500程度の増加が続いている。老年層の転入が安定して多いことが特徴である。

分析結果は、生成AIにより作成しており、情報の正確性を担保しません。また、内閣官房新しい地方経済・生活環境創生本部事務局及び内閣府地方創生推進室の個別の見解を示すものではありません。

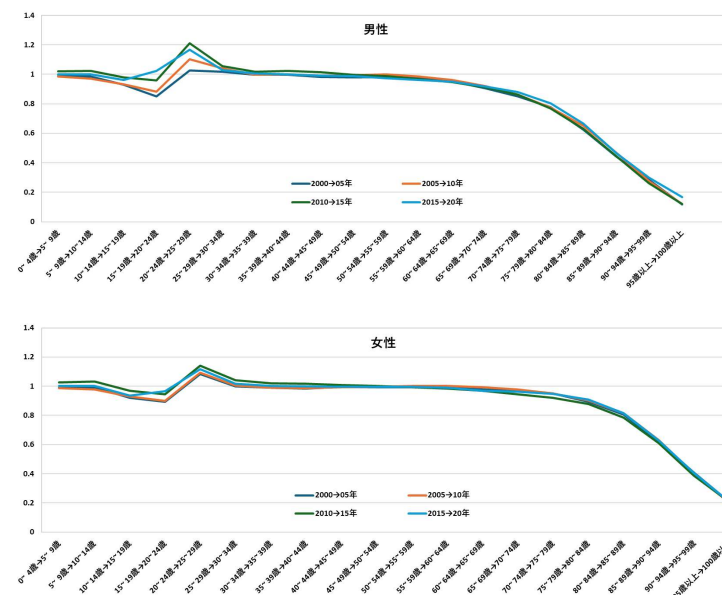
○コーホート変化率（日本人のみ・外国人含む）

福山市

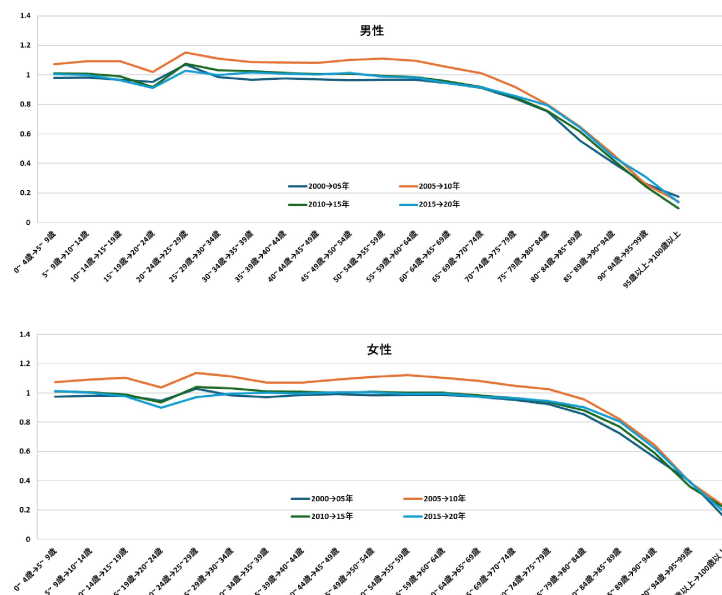
【日本人のみ】



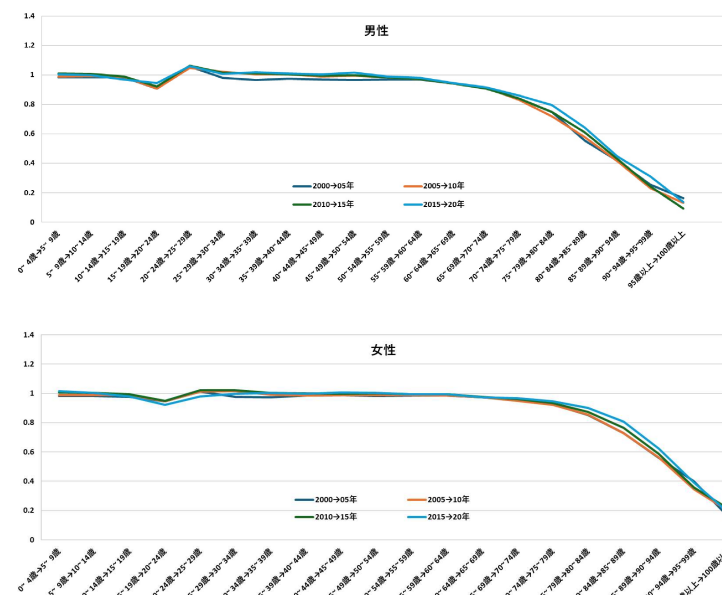
【外国人含む】



【日本人のみ】



【外国人含む】

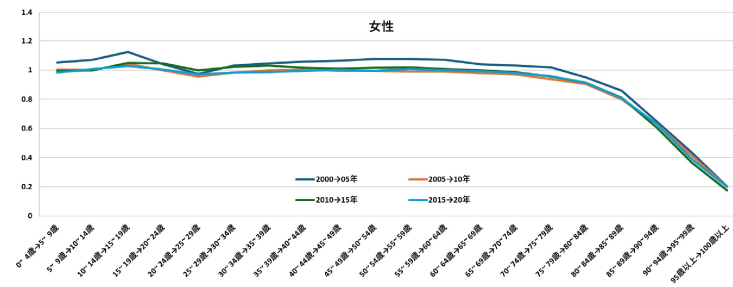
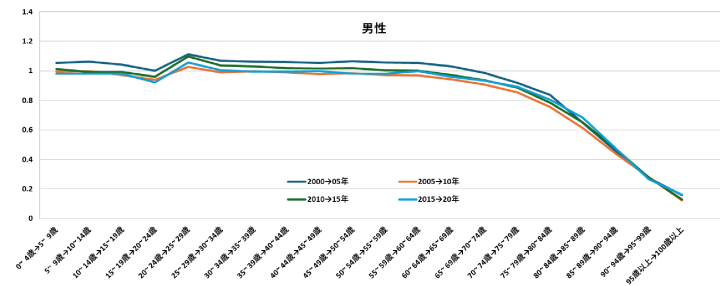


姫路市

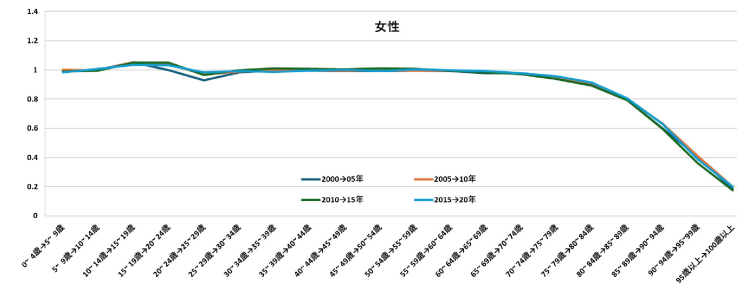
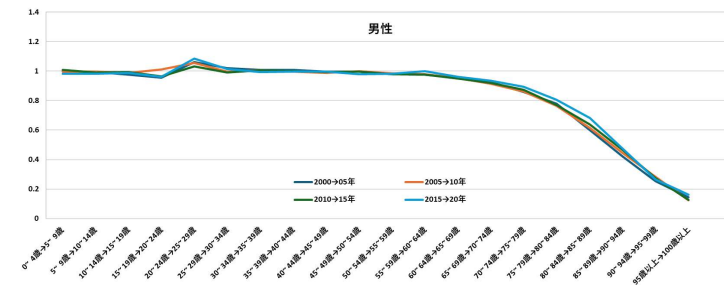
○コーホート変化率（日本人のみ・外国人含む）

倉敷市

【日本人のみ】

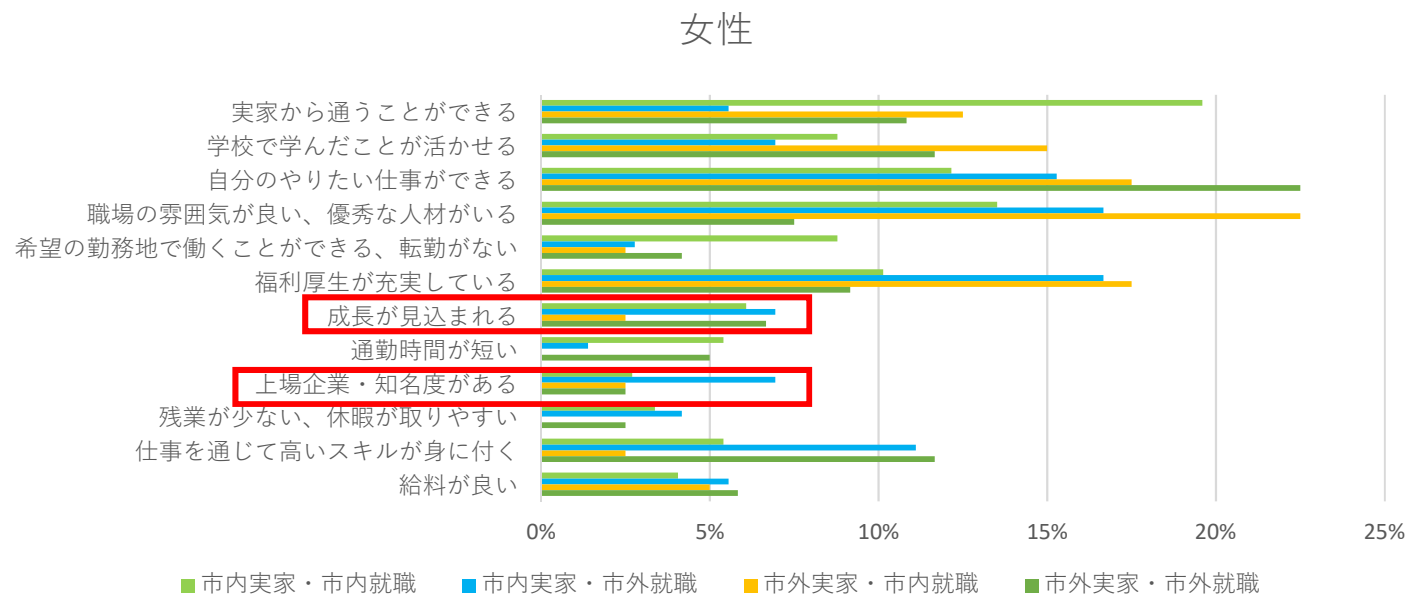
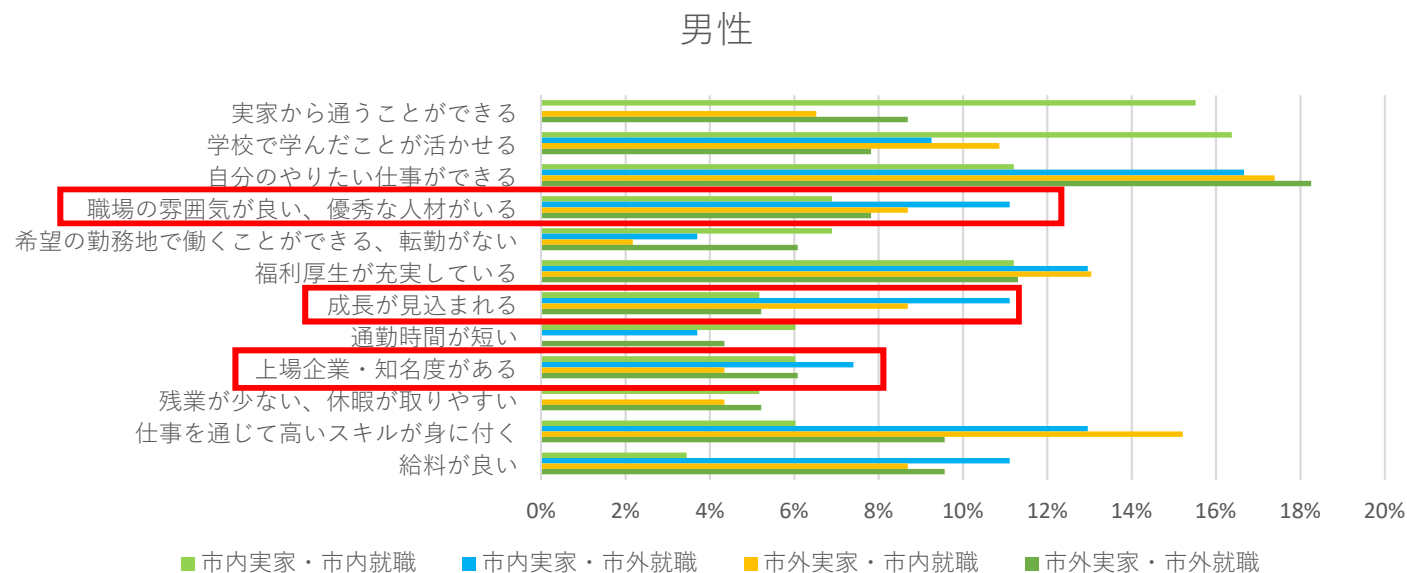


【外国人含む】



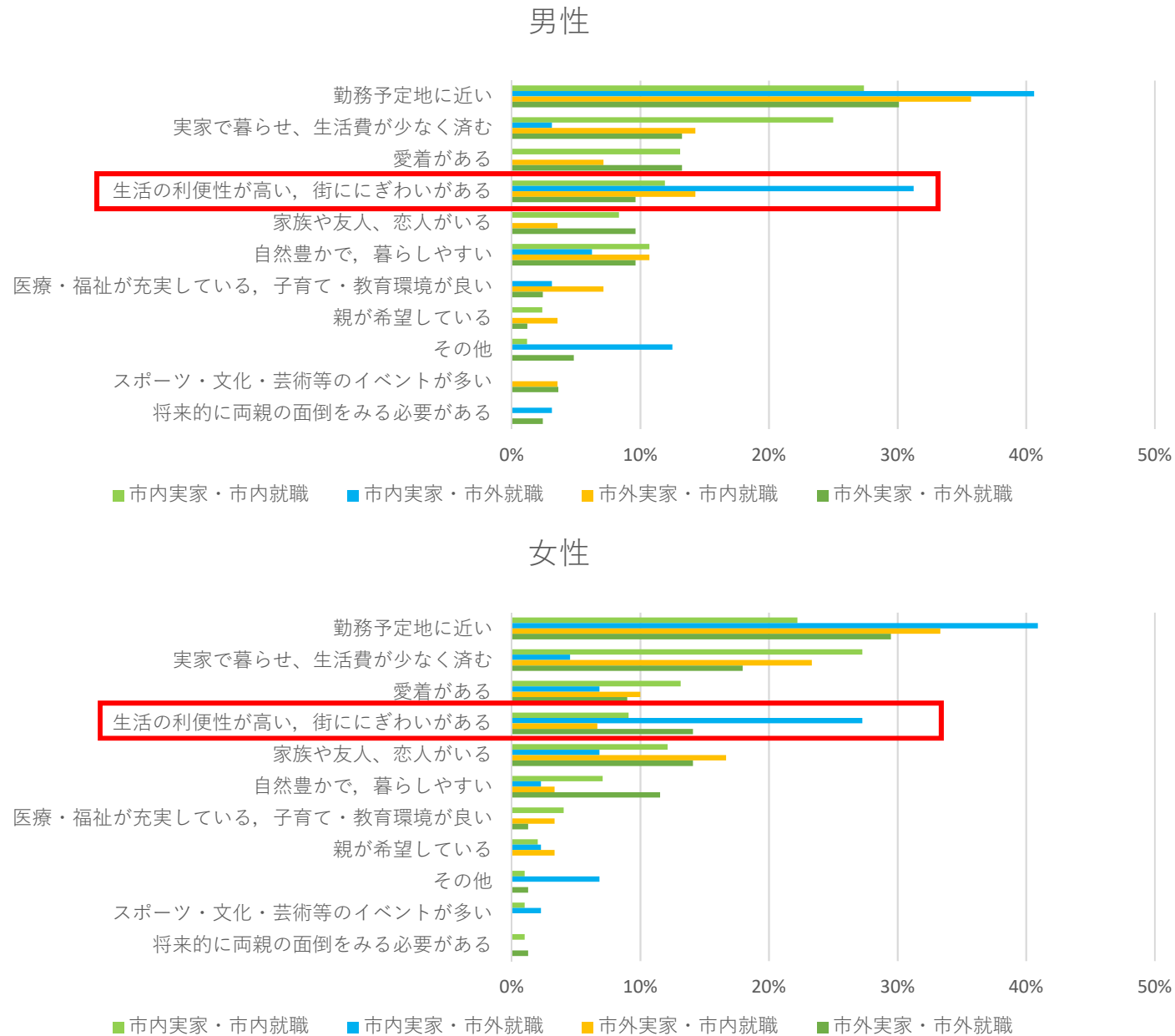
(12) 市内大学生の就職に関する意識関連データの男女別集計結果

①市内大学生等の就職先の選択理由



資料：福山市「市内大学生等への就職に関するアンケート調査」（2023年〔令和5年〕11月～2024年〔令和6年〕1月）

②市内大学生等の居住予定地の選択理由



資料：福山市「市内大学生等への就職に関するアンケート調査」（2023年〔令和5年〕11月～2024年〔令和6年〕1月）

(13) 福山市の産業構造や従業員構造の変化

事業所数

- 2021年（令和3年）における本市の産業分類別の事業所数は、「卸売業、小売業」が最も多く、次いで「製造業」、「宿泊業、飲食サービス業」の順となり、構成比では、全国及び広島県と比較すると「製造業」の割合が特に高くなっている。
- 2016年（平成28年）と比較すると、「不動産業、物品賃貸業」、「医療、福祉」などが増加している一方で、「卸売業、小売業」、「宿泊業、飲食サービス業」、「製造業」などが減少している。

【産業分類別の事業所数（民営）】

（単位：事業所、％）

	2021年（令和3年）6月1日						2016年（平成28年）6月1日						増 減		
	全国	構成比	広島県	構成比	福山市	構成比	全国	構成比	広島県	構成比	福山市	構成比	全国	広島県	福山市
農林漁業	42,458	0.8%	974	0.8%	51	0.3%	32,676	0.6%	816	0.6%	39	0.2%	9,782	158	12
鉱業、採石業、砂利採取業	1,865	0.0%	20	0.0%	1	0.0%	1,851	0.0%	19	0.0%	1	0.0%	14	1	0
建設業	485,135	9.4%	11,370	9.3%	1,835	9.0%	492,734	9.2%	11,440	9.0%	1,786	8.5%	△ 7,599	△ 70	49
製造業	412,617	8.0%	9,429	7.7%	2,315	11.4%	454,800	8.5%	10,302	8.1%	2,551	12.1%	△ 42,183	△ 873	△ 236
電気・ガス・熱供給・水道業	9,139	0.2%	232	0.2%	30	0.1%	4,654	0.1%	105	0.1%	8	0.0%	4,485	127	22
情報通信業	76,559	1.5%	1,264	1.0%	148	0.7%	63,574	1.2%	1,188	0.9%	141	0.7%	12,985	76	7
運輸業、郵便業	128,224	2.5%	3,441	2.8%	509	2.5%	130,459	2.4%	3,502	2.8%	508	2.4%	△ 2,235	△ 61	1
卸売業、小売業	1,228,920	23.8%	30,092	24.6%	4,929	24.2%	1,355,060	25.4%	33,337	26.2%	5,448	25.9%	△ 126,140	△ 3,245	△ 519
金融業、保険業	83,852	1.6%	1,998	1.6%	361	1.8%	84,041	1.6%	2,090	1.6%	369	1.8%	△ 189	△ 92	△ 8
不動産業、物品賃貸業	374,456	7.3%	9,555	7.8%	1,573	7.7%	353,155	6.6%	8,954	7.0%	1,408	6.7%	21,301	601	165
学術研究、専門・技術サービス業	252,340	4.9%	5,729	4.7%	868	4.3%	223,439	4.2%	5,392	4.2%	818	3.9%	28,901	337	50
宿泊業、飲食サービス業	599,058	11.6%	13,344	10.9%	1,996	9.8%	696,396	13.0%	15,298	12.0%	2,278	10.8%	△ 97,338	△ 1,954	△ 282
生活関連サービス業、娯楽業	434,209	8.4%	10,200	8.4%	1,810	8.9%	470,713	8.8%	10,987	8.6%	1,968	9.4%	△ 36,504	△ 787	△ 158
教育、学習支援業	163,357	3.2%	3,994	3.3%	664	3.3%	167,662	3.1%	4,136	3.3%	654	3.1%	△ 4,305	△ 142	10
医療、福祉	462,531	9.0%	10,739	8.8%	1,745	8.6%	429,173	8.0%	10,211	8.0%	1,614	7.7%	33,358	528	131
複合サービス事業	32,131	0.6%	959	0.8%	129	0.6%	33,780	0.6%	997	0.8%	134	0.6%	△ 1,649	△ 38	△ 5
サービス業（他に分類されないもの）	369,212	7.2%	8,815	7.2%	1,389	6.8%	346,616	6.5%	8,283	6.5%	1,307	6.2%	22,596	532	82
合 計	5,156,063	100.0%	122,155	100.0%	20,353	100.0%	5,340,783	100.0%	127,057	100.0%	21,032	100.0%	△ 184,720	△ 4,902	△ 679

資料：総務省・経済産業省「平成28年・令和3年経済センサス - 活動調査」

従業者数

- 2021年（令和3年）における本市の産業分類別の従業者数は、「製造業」が最も多く、次いで「卸売業、小売業」、「医療、福祉」の順となり、構成比では、全国及び広島県と比較すると「製造業」の割合が特に高くなっている。
- 2016年（令和28年）と比較すると、「医療、福祉」、「教育、学習支援業」などが増加している一方で、「運輸業、郵便業」、「卸売業、小売業」、「宿泊業、飲食サービス業」などが減少している。

【産業分類別の従業者数（民営）】

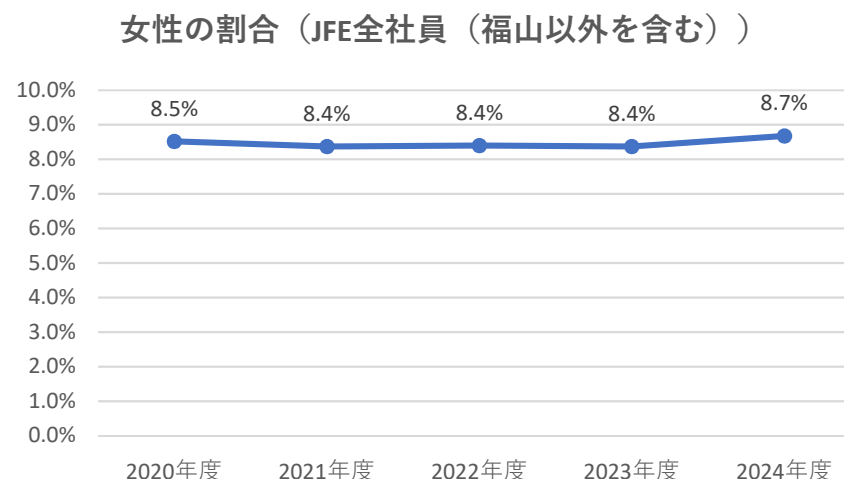
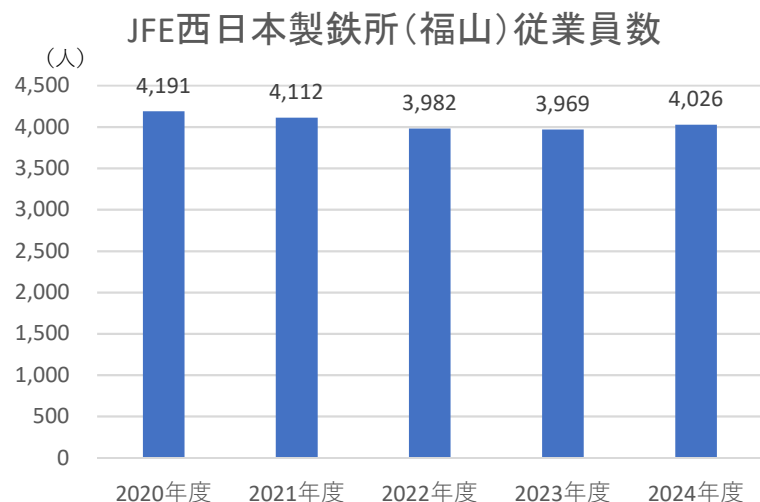
（単位：人、％）

	2021年（令和3年）6月1日						2016年（平成28年）6月1日						増 減		
	全国	構成比	広島県	構成比	福山市	構成比	全国	構成比	広島県	構成比	福山市	構成比	全国	広島県	福山市
農林漁業	453,703	0.8%	12,145	0.9%	616	0.3%	363,024	0.6%	10763	0.8%	403	0.2%	90,679	1,382	213
鉱業、採石業、砂利採取業	19,697	0.0%	157	0.0%	2	0.0%	19,467	0.0%	153	0.0%	3	0.0%	230	4	△ 1
建設業	3,737,415	6.4%	87,579	6.7%	15,477	7.3%	3,690,740	6.5%	83,685	6.4%	14,908	7.0%	46,675	3,894	569
製造業	8,803,643	15.2%	230,685	17.7%	43,944	20.6%	8,864,253	15.6%	236,128	18.1%	44,672	20.9%	△ 60,610	△ 5,443	△ 728
電気・ガス・熱供給・水道業	202,149	0.3%	6,559	0.5%	433	0.2%	187,818	0.3%	5953	0.5%	506	0.2%	14,331	606	△ 73
情報通信業	1,986,839	3.4%	23,310	1.8%	2,364	1.1%	1,642,042	2.9%	22,917	1.8%	1,872	0.9%	344,797	393	492
運輸業、郵便業	3,264,734	5.6%	75,731	5.8%	12,683	5.9%	3,197,231	5.6%	76,509	5.9%	14,861	7.0%	67,503	△ 778	△ 2,178
卸売業、小売業	11,611,924	20.0%	269,673	20.7%	43,546	20.4%	11,843,869	20.8%	274,069	21.0%	45,208	21.1%	△ 231,945	△ 4,396	△ 1,662
金融業、保険業	1,494,436	2.6%	28,711	2.2%	4,279	2.0%	1,530,002	2.7%	29,237	2.2%	4,150	1.9%	△ 35,566	△ 526	129
不動産業、物品賃貸業	1,618,138	2.8%	35,182	2.7%	4,959	2.3%	1,462,395	2.6%	31,482	2.4%	4,306	2.0%	155,743	3,700	653
学術研究、専門・技術サービス業	2,118,920	3.7%	40,907	3.1%	6,999	3.3%	1,842,795	3.2%	36,546	2.8%	6,649	3.1%	276,125	4,361	350
宿泊業、飲食サービス業	4,678,739	8.1%	92,954	7.1%	15,283	7.2%	5,362,088	9.4%	108,229	8.3%	16,813	7.9%	△ 683,349	△ 15,275	△ 1,530
生活関連サービス業、娯楽業	2,176,139	3.8%	46,624	3.6%	7,815	3.7%	2,420,557	4.3%	50,473	3.9%	8,592	4.0%	△ 244,418	△ 3,849	△ 777
教育、学習支援業	1,950,734	3.4%	41,468	3.2%	5,895	2.8%	1,827,596	3.2%	39,902	3.1%	4,666	2.2%	123,138	1,566	1,229
医療、福祉	8,162,398	14.1%	192,952	14.8%	31,218	14.6%	7,374,844	13.0%	181,720	14.0%	28,763	13.5%	787,554	11,232	2,455
複合サービス事業	435,970	0.8%	11,937	0.9%	1,666	0.8%	484,260	0.9%	13815	1.1%	1,898	0.9%	△ 48,290	△ 1,878	△ 232
サービス業（他に分類されないもの）	5,234,337	9.0%	107,050	8.2%	16,106	7.6%	4,759,845	8.4%	100,493	7.7%	15,480	7.2%	474,492	6,557	626
合 計	57,949,915	100.0%	1,303,624	100.0%	213,285	100.0%	56,872,826	100.0%	1,302,074	100.0%	213,750	100.0%	1,077,089	1,550	△ 465

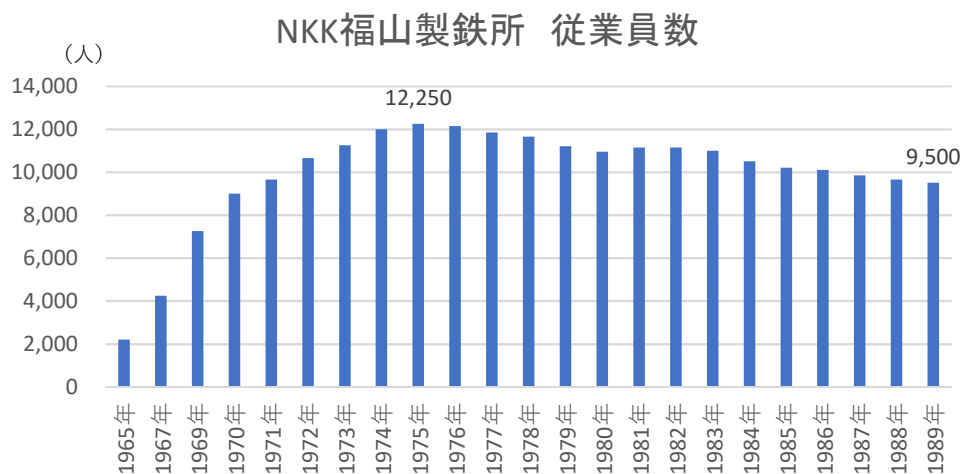
資料：総務省・経済産業省「平成28年・令和3年経済センサス - 活動調査」

(14) 日本鋼管（JFE）の従業員数の推移と男女比

- JFE構内で働く従業員は2024年度4,026人。36年前の約4割に減少。
- JFEグループ企業全体で女性の割合は約1割。福山構内も同様の傾向であると推測される。



資料：JFEスチール株式会社「JFEスチールハンドブック」（2025）



資料：「都市政策と市民生活 福山市を対象に」（1993）

(15) 市内の大学、専門学校、病院の配置

①大学、専門学校

- 大学は中心部、北部、西部に1か所ずつあるが、専門学校は中心部に固まっている。

大学	住所
福山市立大学	福山市港町二丁目19-1
福山大学	福山市東村町三蔵985
福山平成大学	福山市御幸町上岩成正戸117-1

専門学校	住所
福山職業能力開発短期大学校	福山市北本庄四丁目8-48
穴吹国際みらい専門学校	福山市入船町二丁目2-3
穴吹調理製菓専門学校	福山市東町二丁目2-24
穴吹ビジネス専門学校	福山市東町二丁目3-6
専門学校福山歯科衛生士学校	福山市南蔵王町六丁目19-34
広島県東部美容専門学校	福山市西町二丁目16-15
専門学校ファッションビジネス・アカデミー福山	福山市御門町二丁目7-35
福山医療専門学校	福山市引野町南一丁目6-45
福山市医師会看護専門学校	福山市三吉町南二丁目11-25
広島県立福山高等技術専門校	福山市山手町六丁目30-1
福山国際外語学院	福山市西桜町一丁目1-23



②病院（20床以上）

- ・ 福山市内には病院（●）が40施設ある。
- ・ 分娩可能な病院（●）が6施設である。

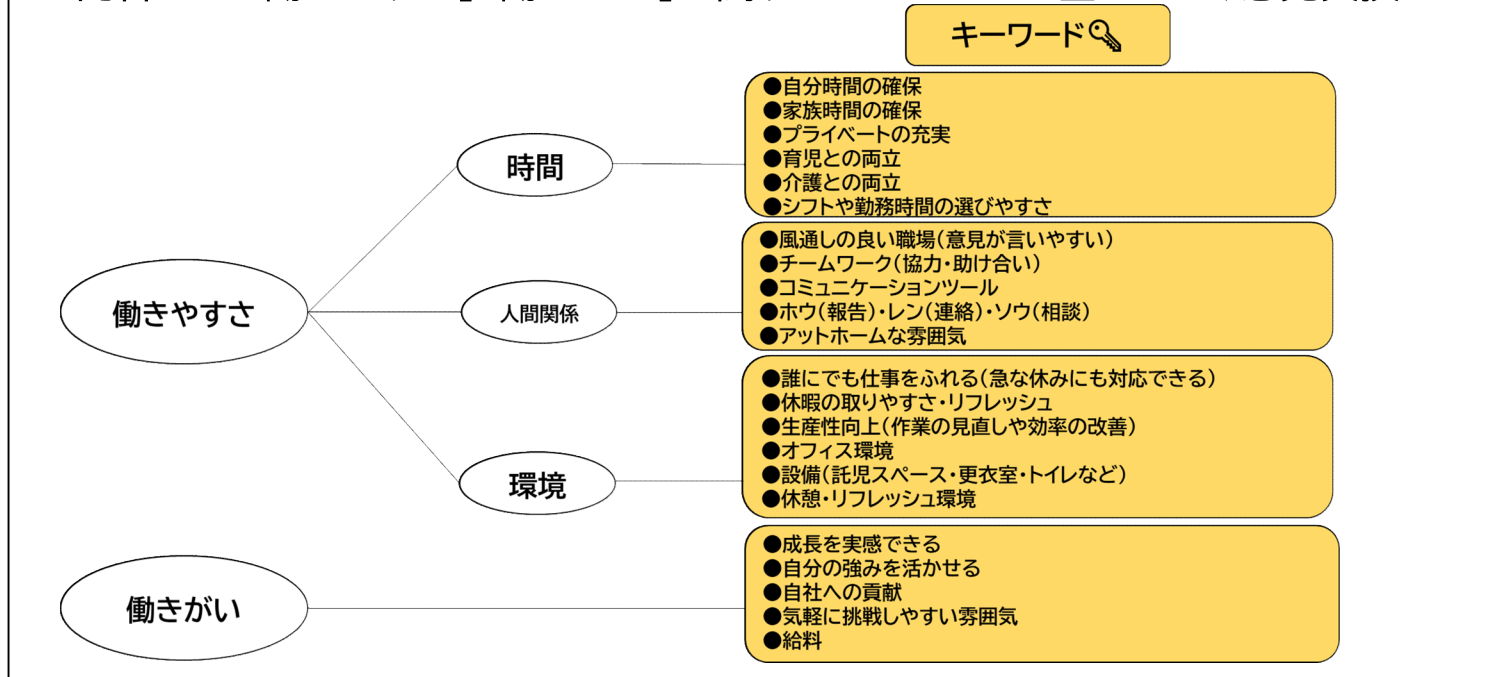


拡大



(16) 若者・女性に選ばれるワークショップでの意見

- ・ 開催日 : 2025年(令和7年)11月21日(金)13時30分~15時00分
- ・ 場所 : Iti SETOUCHI コワーキングスペースtovio
- ・ 参加者 : 市内企業10社に勤める若手・女性社員13名
- ・ 内容 : 「働きやすさ」「働きがい」に関するキーワードに基づいて、意見交換



若手従業員グループでの主な意見

●風通しの良い職場

- ・ 若手社員が意見を言いやすい環境作りが重要。
- ・ 年齢差が壁となっている。

●アットホームな雰囲気

- ・ 上司との距離が近い環境が望ましい。
- ・ 休暇取得の許可が得やすい。

●休暇の取りやすさ・リフレッシュ

- ・ 休暇取得を促進する制度が必要。
- ・ 連休が取りにくい現状を改善したい。

●誰にでも仕事をふれる

- ・ マニュアル化と業務の見える化が必要。
- ・ 情報の属人化を解消をしたい。

●休憩・リフレッシュ環境

- ・ 個室やリクライニングチェアなどのリフレッシュ環境が欲しい。

●シフトや勤務時間の選びやすさ

- ・ フレックスタイム制や短時間勤務の柔軟性が欲しい。
- ・ 制度はあるが、実際に利用されていない。

女性従業員グループでの主な意見

●風通しの良い職場

- ・ 意見を言いやすい環境が必要。
- ・ 上司の機嫌が職場の雰囲気に影響を与える。
- ・ 直接のコミュニケーションが重要。

●チームワーク

- ・ 業務の見える化を進め、属人化を防ぐ。

●仕事と家庭・プライベートの両立

- ・ 男女間の家事分担に対する固定概念がある。

●設備

- ・ 託児スペースや更衣室の改善が必要。
- ・ 食堂の設置でコミュニケーションを促進。

●成長を実感できる

- ・ 成果が昇給や昇格に反映されることが重要。
- ・ 資格取得支援が求められるが、勉強する時間がないという課題も。

●挑戦

- ・ 資格取得や新しいことへの挑戦を支援する体制が必要。